

議題1

平成30年度予算におけるこれまでの
主な取組と来年度に向けた取組について

議題 1-①

(1) 塩竈市独自の小中一貫教育の推進について

..... (別冊1)

(2) 勝画楼保存活用推進事業について

勝画楼保存活用推進事業について・・・・・・・・・・P1

勝画楼保存活用推進事業について

1. 概要

勝画楼については、平成 29 年 3 月から文化財建造物としての価値を適切に把握するための調査を実施し、文化財建造物としての価値が判明したことから、同年 10 月に所有者である志波彦神社・鹽竈神社から無償譲渡していただきました。

平成 30 年度は、外部有識者等による検討部会を含めた「勝画楼保存・活用検討委員会」を設置し、今後の適切な保存・活用に向けて取り組んできました。

2. 平成 30 年度における主な取組

(1) 保存・活用に向けた建物の痕跡調査や古文書度文献調査（平成 30 年 4 月～8 月に実施）

《平成 30 年度調査》

- ・勝画楼棟（懸けづくり部分）は、5 代藩主吉村公の御代には存在しなかったと考えられる。
- ・広間棟は、天保期の火災により滅築されたと考えられていたが、明治初年まで三間続きで残っていた記録があり、明治天皇東北巡幸にあわせて滅築されたと考えられる。
- ・上記巡幸から昭和初期にかけて様々な増改築が行われ、現在の形になったと考えられる。

(2) 市の文化財指定（10 月 5 日付けで指定）

《指定理由》

- ・建築様式や文献考証から江戸時代中期以降に建立された希少な建造物であるとともに、法蓮寺に関し唯一現存する遺構として重要であること。
- ・中心市街地を一望する視点を提供するとともに、懸けづくりの勝画楼棟はまちの中心部より鹽竈神社方面を望む際に欠かせない景観となっており、塩竈の風致景観を構成する重要な建造物であること。

(3) 危険箇所の除去、風雨による損壊等防止のための応急修繕工事（11 月着工・2 月竣工予定）

※応急修繕完了後、関係者等による現地説明会の開催を予定しています。

3. 平成 31 年度以降の取組

- | | | |
|---|---|-----------------|
| (1) 発掘調査（増改築の変遷を裏付けるための周辺発掘調査） | } | 県文化財指定を受けるための取組 |
| (2) 調査報告集の作成 | | |
| (3) 勝画楼保存・活用検討委員会の意見を踏まえた中・長期的な活用・活用方針の作成 | | |
| (4) 県文化財指定のための申請（平成 32 年度以降） | | |

《平成 30 年度における取組等の様子》



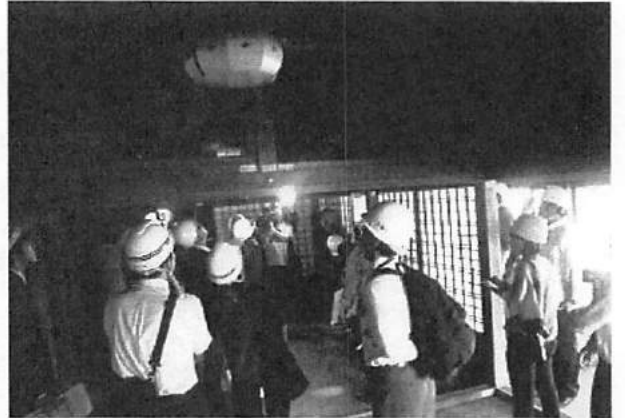
勝画楼（懸けづくり）



勝画楼（まちの中心部から望む）



平成 30 年 7 月 4 日開催
勝画楼保存・活用検討委員会（外部）



勝画楼保存・活用検討委員会（外部）・視察



平成 30 年 5 月 30 日実施
環境整備（建物周辺除草）



環境整備（懸けづくり付近除草）

平成30年9月27日

塩竈市教育委員会
教育長 高橋 睦磨 殿

塩竈市文化財保護委員会
会長 小谷 竜



市文化財の指定について (答申)

平成30年8月31日付教生学第143号で諮問されました標記の件について、別紙のとおり答申します。

下記の文化財について、市文化財に指定してよいこととする。

1. 名称及び員数 勝面楼 一棟

2. 指 定 理 由 勝面楼は、鹽竈神社別当寺であった法蓮寺の客殿を減築した広間棟と崖地にせり出して建てられた懸け造りの勝面楼棟、明治期以降の増築部分で構成されており、塩竈湾の眺望で知られていた。勝面楼は、建築様式や文献考証から江戸時代中期以降に建立された建造物として希少である。また、法蓮寺に関し唯一現存する遺構として重要である。同時に、中心市街地を一望する視点を提供するとともに、懸け造りの勝面楼棟は町の中心部より鹽竈神社方面を望む際に欠かせない景観となっており、塩竈の風致景観を構成する重要な建造物でもある。

3. 附 帯 意 見 (1) 勝面楼の保存・活用については、勝面楼保存・活用検討委員会において検討が進められているとのことであることから、今後の方針が同委員会より提出されたときは、その内容について本審議会の審議に付すこと。
- (2) 天保期から明治期までにおける広間棟の変遷には不明な点もあることから、勝面楼周辺の遺構調査や部材調査等を継続して行うよう努めること。

(3) 塩竈アフタースクール事業について
(わくわく遊び隊)

平成 30 年度の実施状況について P 5

平成 31 年度の取組について P 5

塩竈アフタースクール事業（わくわく遊び隊）について

1. 概要

小学校1年生～3年生を対象とし、放課後に運動要素を取り入れたレクリエーション活動等を行うわくわく遊び隊は、塩釜市体育協会・本市スポーツ推進員、塩釜FCにより組織された「わくわく遊び隊運営委員会」が主体となり、平成28年6月に玉川小学校で発足しました。

平成29年度からは塩竈アフタースクール事業に位置付け、塩釜市体育協会に委託することで浦戸地区を除く市内小学校へ拡充することができました。また、PTA役員等による運営委員会が各校で結成され、組織化が図られました。

2. 平成30年度における実施状況（10月2日現在）

開催校	参加児童数（H29年度実績）	開催回数（H29年度実績）	指導講師所属団体
一小	34人（37人）	9/22回（全10回）	塩釜FC、市サッカー協会、遼陽野球
二小	35人（36人）	7/20回（全9回）	体協、アトM体操教室、塩二小ソニック、市バスケ協会
三小	37人（41人）	9/22回（全10回）	体協、市バスケ協会、三小PTA、
月小	42人（58人）	10/23回（全22回）	体協、スポーツ推進員、塩釜FC
杉小	46人（41人）	11/22回（全12回）	体協、塩釜FC
玉小	69人（81人）	10/24回（全20回）	体協、スポーツ推進員、塩釜FC
計	263人（294人）		

※参加児童の出欠確認や活動日誌記載のため、指導支援員として参加児童の保護者等に活動を支援していただきました。

3. 平成31年度の取組

- (1) 各校運営委員会の自立性向上
- (2) 指導講師の発掘（メニューの充実）
- (3) 開催日・対象学年拡大等に向けた検討

4. 課題

- ・地方創生推進交付金（まち・ひと・しごと創生交付金）の交付期間満了に伴う財源の確保
- ・各校運営委員会の自主性及び自立性の向上
- ・指導講師（指導支援員）の確保

《平成 30 年度における取組等の様子》



平成 30 年 6 月 13 日
杉 小 開 講 式



活動の様子 (タッチ鬼)



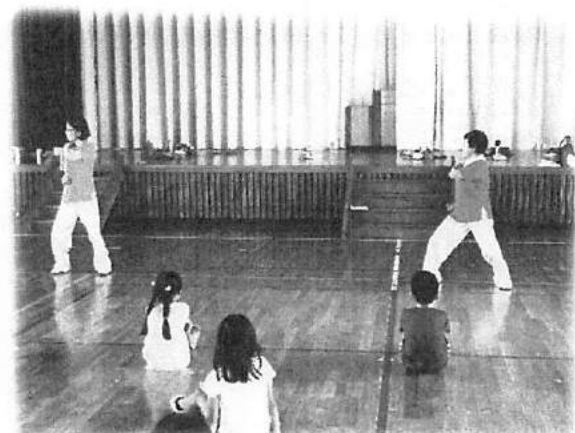
活動の様子 (しっぽ取り鬼)



平成 30 年 5 月 29 日
指 導 者 研 修 会



平成 30 年 9 月 2 日
スポーツフェスティバル : 各校児童合同チームにより参加



活動の様子 (特別教室 : カンフー体操)

(4) その他

学校施設の空調整備について・・・・・・・・P7

学校施設の ICT 整備について・・・・・・・・P7

学校施設の空調整備について

(1) 概要

現在、市内の小中学校では、4校では保健室か相談室等に1か所設置し、7校では複数か所にクールスポットとしてエアコンを整備・設置しております。

今後は、優先的に全ての保健室にエアコンの整備を行うとともに、更なる学習環境の整備の一環として、学校全体の空調設備の整備について、基礎調査を実施し実態を把握するとともに、その結果を踏まえて今後の整備方針を検討するもの。

(2) 平成 31 年度の計画

①保健室へのエアコン整備

【小学校】第一小学校 第三小学校 杉の入小学校 玉川小学校

【中学校】第三中学校 浦戸小中学校

②基礎調査の実施

各学校の施設に適した空調の整備方法（エネルギー源・施設改修等）について調査を行う。

学校施設の ICT 整備について

(1) 概要

国の「第 3 期教育振興基本計画」で示されている整備目標を満たすため、現在、各小中学校で使用している教育用パソコン及び教育用周辺機器のリニューアルを行うとともに、普通教室について無線 LAN 環境の整備を行い、ICT 環境の充実を図るもの。

(2) 平成 31 年度の計画

(ア) 塩竈市立小中学校パソコン教室における教育用パソコンの更新

(イ) 塩竈市立小中学校パソコン教室における指導者用パソコンの更新

(ウ) 各校分のサーバー11台の更新

(エ) 普通教室無線 LAN の環境整備

市民交流センター（市民図書館）運営のあり方
検討中間報告について

.....（別紙2）

次期塩竈市教育大綱について

・・・P8

次期塩竈市教育大綱の策定について

本市では、平成27年度の「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」の改正に伴い、教育施策の目標や根本となる方針として「塩竈市教育大綱」(4年間：平成28年度～平成31年度)を策定いたしました。

「塩竈市教育大綱」では3つの基本方針である「塩竈独自の小中一貫教育の推進」、「学校・家庭・地域の連携」、「塩竈ならではの人・歴史・文化・自然の活用」を定めるとともに、塩竈市教育大綱をより具体的なものとするために「塩竈市教育振興基本計画」(10年間：平成28年度～平成37年度)を策定し、塩竈市教育大綱の施策体系を基本としながら、施策毎に基本的方向性と取組方針を示し、成果指標を掲げ塩竈市教育大綱の実現に向け取組んでおります。

I. 大綱の位置づけ

現在の塩竈市教育大綱の策定にあたっては、上位計画である「第5次塩竈市長期総合計画」「塩竈市震災復興計画」のもと、教育に関する様々な分野の施策を総合的・一体的に進めるため、整合性を図りながら策定したことから、引き続き平成32年度から平成35年度までの4年間を次期塩竈市教育大綱期間とし、策定してまいります。

II 対象期間

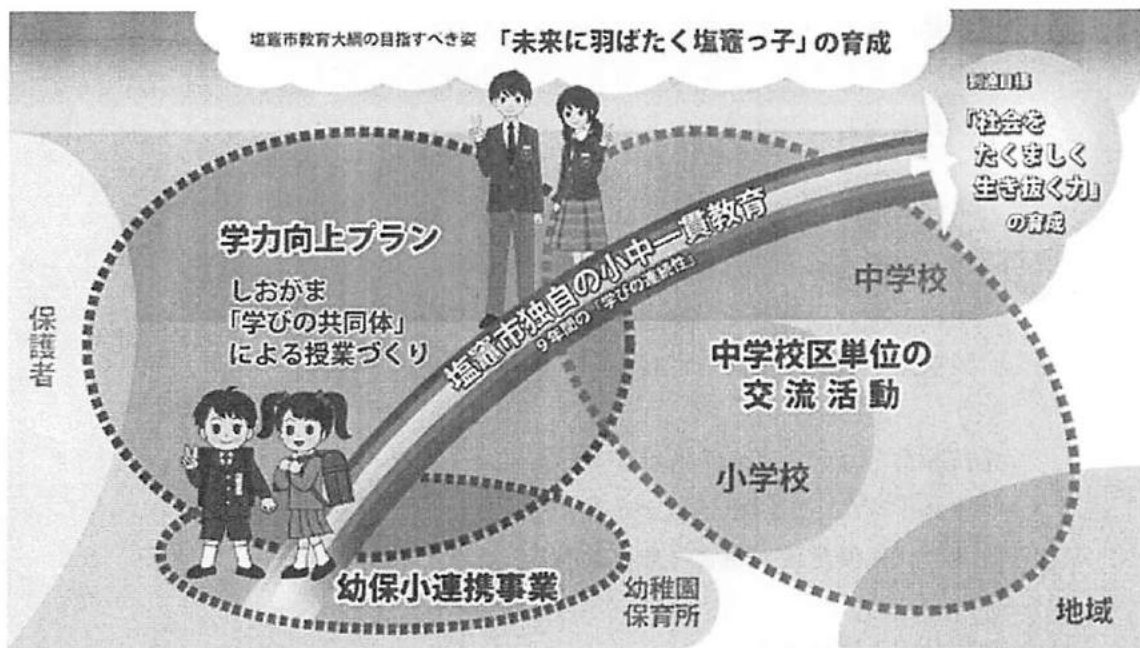
	H28	H29	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	・・・	H42	
塩竈市 長期総合計画	(第 5 次)					(第 6 次)							
塩竈市教育大綱	(現 在)				(次 期 体 綱)								

III スケジュール

	次期大綱策定関係	備考
平成30年12月	現在の教育大綱の総括	教育部各課において総括・骨格案の作成
平成31年4月	第1回総合教育会議(骨格案の協議)	
平成31年7月	第2回総合教育会議(骨格素案の確認)	
平成31年10月	第3回総合教育会議(骨格素案の確認)	大綱(案)パブリックコメントの実施
平成31年12月	第4回総合教育会議 «教育大綱の決定»	
平成32年1月	総務教育常任協議会への報告	
平成32年2月	2月定例会への報告	※全員協議会
平成32年4月	«次期教育大綱期間開始»	

塩竈市独自の小中一貫教育の推進

～「しおがま学びの共同体」による授業づくり～
平成30年度上半期の取り組み



学校教育課

本日の報告の流れ

○ しおがま「学びの共同体」による授業づくりの進捗状況

- (1) 平成30年度上半期の取り組み
- (2) 平成30年度下半期の取り組み
- (3) 成果検証（平成30年度の中間報告）

①全国学力・学習状況調査、②学級生活満足度調査Q-U

○ 塩竈独自の小中一貫教育の課題の整理

- (1) しおがま「学びの共同体」による授業づくり

①新しい教授法について、イメージがつかめない教員が散見される

→「研修の充実」・「研修の継続」が必要である

*パイロットスクールでの研究成果を市内全体に拡大

*先進地域との連携 *大学との連携

②各学校での取り組みに格差が見られ始めている

→各校の研究推進体制の確立と推進役（リーダー）の養成が必要である

*推進役（リーダー）養成のためのプログラムを作成

*授業力向上のための定期的な授業公開（市内・校内）

③学校教育と家庭教育の連携が希薄である

*各学校からの情報発信を充実

*学校に保護者・地域の方々を招き入れる工夫

- (2) 塩竈市幼保小連携事業

①小中一貫教育9年間のスタートに当たる「小学1年生」の「学びの接続」・
「生活の接続」に課題がある

→「幼保小連携の体制づくり」を推進する必要がある

*幼稚園や保育所、小学校等の連携を深めるための連絡協議会を設置

*「共通の困り感」をもつ幼稚園・保育所・小学校等で合同研修会等を

実施（相互交流の充実）

→発達障害児等への具体的な支援や、適切な就学指導が必要である

*気軽に相談できる体制づくり（特別支援教育スーパーバイザー）

*専門家チームの活用（特別支援教育巡回相談員制度）

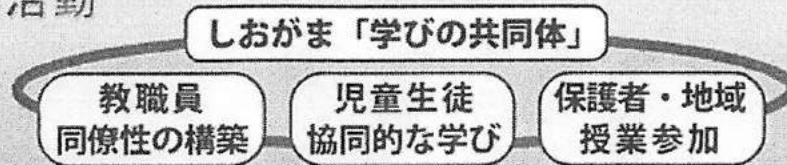
1 しおがま学びの共同体

学力向上プラン

授業づくり「活躍する場」や「交流する場」を設定し、すべての児童生徒が「できる・分かる」喜びを味わえる授業を目指す。



しおがま「学びの共同体」 による授業活動

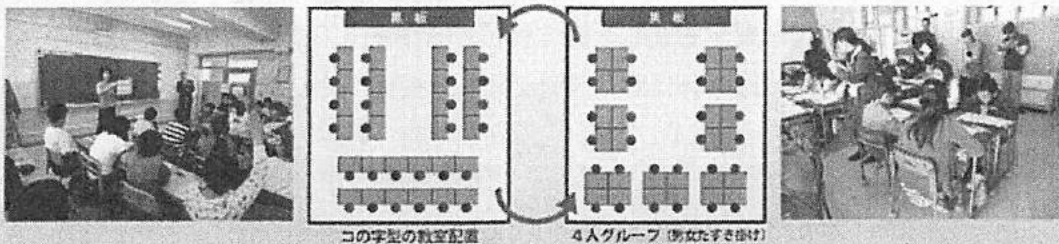


「主体的・対話的で深い学び（アクティブラーニング）」を実現するため、旧来型の「一斉授業」から「協同的な学びの授業」へ転換を図り、児童生徒も教師も保護者も、互いに学び合う場所にする「学びの共同体」として組織。

2 「学び」が生まれる授業

「学び」が生まれる授業

コの字型の「全体の協同的な学び」と「男女混合4人グループの「協同的な学び」を適宜に組み合わせて授業を進める。

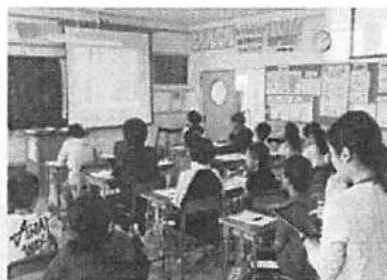


- ① 教師からの一方向の説明や講義ではなく、児童生徒の発言を「聴く」「つなぐ」「もどす」を基本とした「協同的な学びの授業」を展開。
- ② 誰もが理解すべき「共有の課題」と、その理解を基礎として挑戦する「ジャンプの課題」で授業をデザイン。

3 ユニバーサルデザインによる授業づくり

ユニバーサルデザイン による授業づくり

授業をシンプルで分かりやすいものにし、
どの子も安心して参加できるように配慮。



視覚化・ICT活用



共有化：ペア学習



教室の掲示物は必要最低限なものに

4 平成30年度上半期の取り組み

(1) 塩竈市教育実践発表会 (4月3日)

①塩竈市教育研究論文 最優秀賞受賞者による研究発表

- ・小学校の部 対話を通して主体的に学び合う児童の育成
～「協同的学び」の視点による国語科の授業改善～
第一小学校 教諭 木村 宜智
- ・中学校の部 学習する楽しさを実感し、学び合い、深め合う指導過程の工夫
～国語科における対話のある授業づくりを通して～
玉川中学校 教諭 小林 美佐子



【木村教諭の発表】



【小林教諭の発表】

②行政報告（学校教育課）

「社会をたくましく生き抜く力」を育む塩竈市独自の小中一貫教育の推進

○小中一貫教育の4つの評価指標についての説明

○市内全小中学校において「協同的学びの授業」づくりを推進

(2) 教職員全体研修会 教育講演会（4月11日）

講演 「対話的で深い学びの探究—学びの共同体の挑戦—」

講師 学習院大学教授 佐藤 学 様

講演の概要

「学びの共同体」による授業改善は、児童生徒に対し、一人残らず学びの権利を保障することであり、学びの主人公である子どもたちの成長につながる。そのためには、質の高い学びを実現することが必要であり、教師が一人残らず専門家としての成長を実現していくことが重要である。



【講師 佐藤 学 先生】



【全教職員による研修】

(3) 第1回塩竈市学力向上プラン推進委員会（5月2日）

①学力向上プラン推進委員 任命状交付（小学校 13名 中学校8名）

②推進委員の役割について

- ・推進委員は、年間を通して自ら実践を重ね、授業を公開する
- ・各校の「協同的学びのある授業づくり」の推進、進捗を管理する
- ・中学校区授業研究会の計画、運営をする

(4) 第1回管理職・学力向上プラン推進委員等研修視察（7月3日・4日）

①最新の学習理論と事例研究に基づいた「学びの共同体としての学校づくり」を進めている茨城県牛久市教育委員会の取組について学ぶ

②牛久市立小・中学校で行われている「学びの共同体としての学校づくり」の授業を参観し、本市の「協同的学びの授業づくり」に生かす



【研究授業視察】



【4人グループでの学び合い】

(5) 第2回塩竈市学力向上プラン推進委員会 (7月17日)

- ①富谷市立東向陽台中学校授業研究会参加
- ②講話 学習院大学 教授 佐藤 学 様



【中学1年 国語の授業 (戸羽教諭)】

- ・詩の情景を考えさせるために4人グループでの学び合いを取り入れていた。
- ・生徒たちは、自分の考えや仲間との学び合いで得たことを、自身の音読に取り入れて発表していた。

(6) 教職員全体研修会 (8月21日)

- ①パイロットスクール (研究指定校) における実践発表
 - ・実践発表 第三小学校、第三中学校
 - ・発表の概要

パイロットスクールでは、校内研究として「学びの共同体」の視点を取り入れた授業づくりに取り組んできた。授業の中での「聴き合う関係」づくりを意図したペアや4人グループの学び合いを重ねてきたことで、落ち着いた中で児童生徒が対話する姿が見られるようになってきた。学習課題 (問題) については、「ジャンプの課題」をどのような問題にするか、どこに設定するか等、試行錯誤を重ねている。今後も、このような成果と課題を踏まえ、授業改善に取り組んでいく。

②講話 しおがま「学びの共同体」パイロットスクールの実践と課題

講師 宮城教育大学教職大学院 准教授 金田 裕子 様



【パイロットスクールの実践発表】



【講師・発表者とのシンポジウム】

5 平成30年度下半期の取り組み

(1) 市内2箇所のパイロットスクール（研究指定校）での公開授業研究会

＊第3回塩竈市学力向上プラン推進委員会

①第三小学校 公開授業研究会（11月7日）

②第三中学校 公開授業研究会（12月3日）

(2) 第2回管理職・学力向上プラン推進委員等研修視察

（12月3日・4日、5日・6日）

①最新の学習理論と事例研究に基づいた「学びの共同体としての学校づくり」を進めている茨城県牛久市教育委員会の取組について学ぶ

②牛久市立小・中学校で行われている「学びの共同体としての学校づくり」の授業を参観し、本市の「協同的学びの授業づくり」生かす

(3) 第4回塩竈市学力向上プラン推進委員会（2月13日）

○『しおがま「学びの共同体」による「主体的・対話的で深い学び」（アクティブラーニングの推進）』の成果と課題について（年間）

○次年度の取組方針並びに計画について

6 成果検証

(1) 平成29年度

成果

(1) 授業満足度

国語、算数・数学の授業について「よく分かりますか」と「楽しいですか」の設問 児童85%、生徒80%から満足度が高いという回答

(2) 学級生活満足度(Q-U調査)

「学級満足度」全国値を上回った学級(平成29年度3学期)
 小学校 63学級 / 82学級中 77%
 中学校 35学級 / 40学級中 88%

(3) 不登校出現率

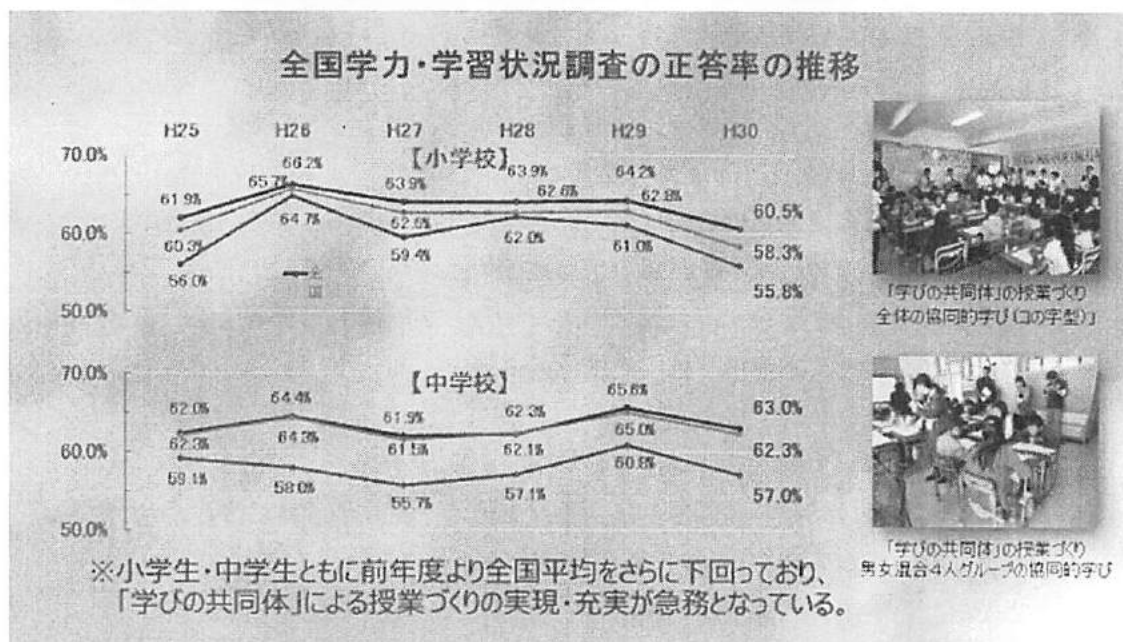
不登校出現率…平成28年度 34.4% 減少(90名→59名)
 平成29年度 前年のほぼ横ばい(58名)
 ※ 中一プロブレムの中学1年生 30.8% 減少

(4) 全国学力・学習状況調査

小中一貫教育がスタートし一年が経過した今年4月17日に実施した全国学力学習状況調査の結果については7月末に結果が届く予定

(2) 平成30年度

① 全国学力・学習状況調査(平成30年4月17日実施)



② 学級生活満足度調査(Q-U調査)

「学級満足度」全国値を上回った学級(平成30年度1学期)

小学校 75学級 / 82学級中 91%

中学校 37学級 / 41学級中 90%

7 各学校の取り組み

(1) 塩竈市立第一小学校

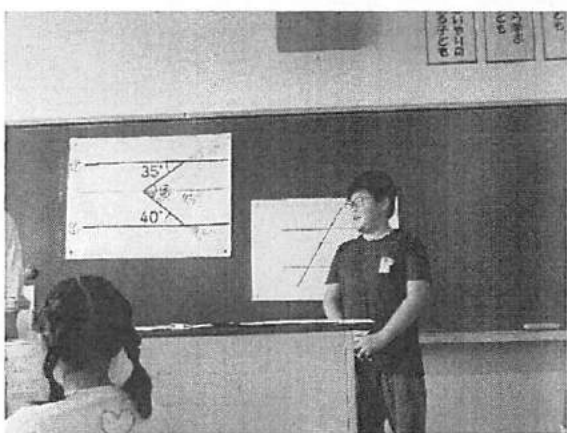
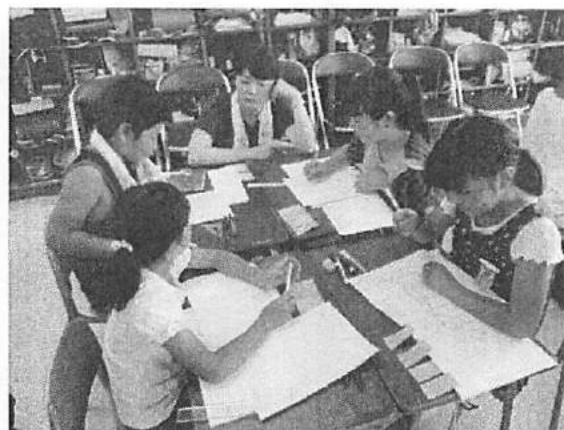
<これまでに実施した研究授業について>

日時	実施教科	授業者	参観者の人数	参観者の区分
7月2日(月)	国語「走れ」	教諭 我妻 大輔	18名	全校
9月3日(月)	国語 「注文の多い料理店」	教諭 木村 宜智	27名	中学校区 (一中)
9月3日(月)	算数「角の大きさ」 「垂直・平行と四角 形」	主幹教諭 片桐 正弘	27名	中学校区 (一中)
9月3日(月)	学活「一小まつりの 出店を決めよう」	教諭 遠藤 仁樹	27名	中学校区 (一中)

<今後の予定>

日時	実施教科	授業者	参観者の区分
10月11日(木)	国語「名前を見てちょうだい」	教諭 関内 智湖	全校
11月26日(月)	国語「おとうとねずみとチロ」	教諭 山本 誠子	学年部
11月26日(月)	国語「はりねずみと金貨」	教諭 井上 通子	学年部
11月26日(月)	国語「ヒロシマのうた」	教諭 菊池 怜花	学年部
2月上旬	未定	特別支援 教諭 海老 育子 教諭 赤間 秀一 教諭 小野 あけみ 講師 三塚 将	全校

【No. 1】4年1組 我妻 大輔 国語 単元名「走れ」

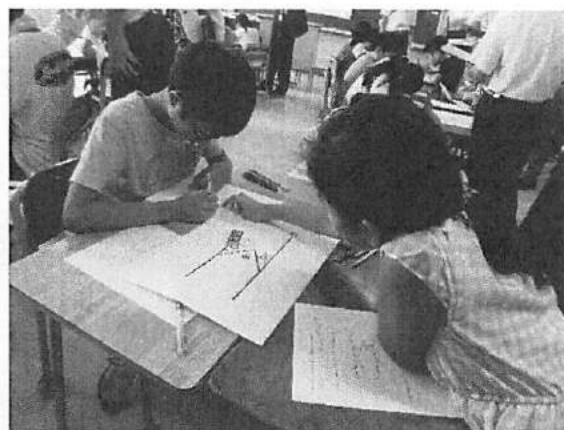


①物語に登場する中心人物の気持ちが、どこで、どのように変わったのかを考え、友達と意見を交流する活動。

②自分の考えの根拠となる叙述に対して、付箋紙を張り、意見の相違を共有している場面。

③学習形態（コの字・4人グループ）の変化とその効果について、意見交換がされた。

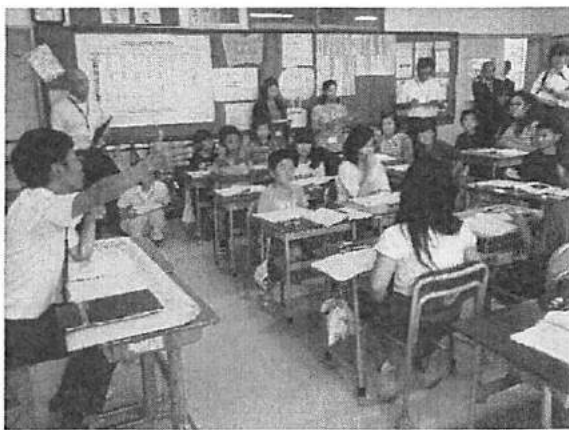
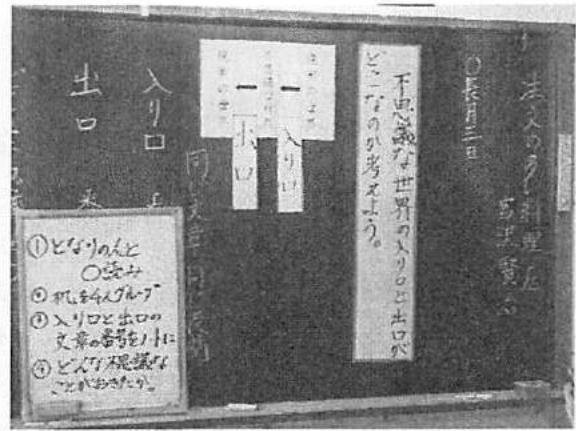
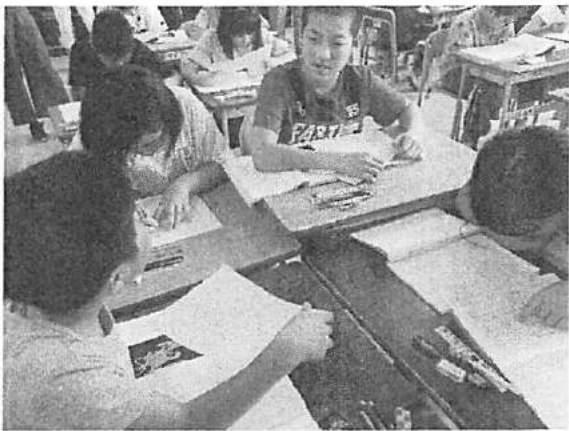
【No. 2】4年1組 片桐 正弘 算数 単元名「角の大きさ」「垂直・平行と四角形」





- ①複数単元に渡る既習事項を活用しながら解法を導く授業。
- ②「ジャンプのある課題」に対して、互いの考えを交流しながら、分からなさを共有している場面。
- ③事後検討会では、「ジャンプのある課題」の難易度と、児童の実態の見極めの難しさについて意見交換がされた。

【No. 3】5年2組 木村 宜智 国語 単元名「注文の多い料理店」



- ①物語の構成に着目し、「不思議な世界」と「現実の世界」の境目となる叙述を検討する授業。
- ②教科書教材で学んだことを、初めて読む物語で活用する「ジャンプのある課題」に取り組み、意見を交流する場面。
- ③事後検討会では、国語で「ジャンプのある課題」を設定する際の、教材研究の在り方について、意見交換がされた。

(2) 塩竈市立第二小学校

<これまでに実施した研究授業について>

全校授業研①

- (1) 日時 平成30年6月15日(金)
- (2) 実施教科 算数
- (3) 授業者 教諭 坂 保興(6年1組担任)
教諭 佐藤 嘉美(6学年少人数指導担当)
- (4) 参観者 32名(本校職員)

全校授業研②

- (1) 日時 平成30年9月14日(金)
- (2) 実施教科 国語
- (3) 授業者 教諭 文屋 薫
- (4) 参観者 32名(本校職員)

<今後の予定>

- (1) 日時 平成30年11月 9日(金): 全校授業研修③
(事前に学年内他クラスで事前授業2回実施予定)
平成30年11月22日(木): 全校授業研修④
(事前に学年内他クラスで事前授業2回実施予定)
- (2) 実施教科 全校授業研修③・・・国語
全校授業研修④・・・算数
- (3) 授業者 全校授業研修③・・・教諭 櫻井郁子(3年1組担任)
全校授業研修④・・・教諭 工藤真弓(1年2組担任)

6年1組 算数 单元名「分数のかけ算」 6月15日(金)実施
(T1教諭 坂 保興, T2教諭 佐藤 嘉美)



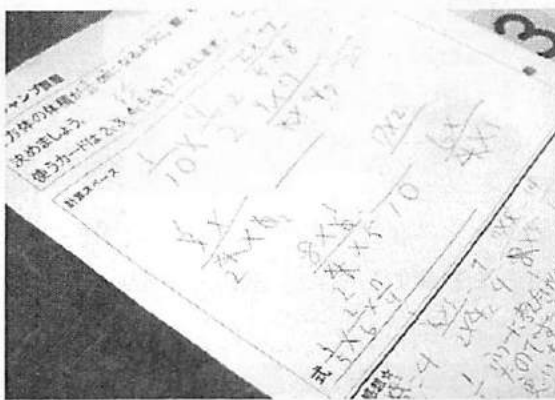
①導入から展開前半まで、『共有の学び合い』は短時間でテンポよく。「約分」というポイントを押さえた。子どもたちが集中し安定感のある授業展開、ジャンプ課題につなぐ大事な場面だった。

②授業開始12分、ジャンプ課題の提示。課題を提示し、分かっていることと求めることの確認、4人で何を話し合うかの確認、話し合い方のポイントの説明をした。



③ジャンプ課題を小集団で解決する場面。自分の考えを言語化して友達と伝え合い、考えの共有が図られていた。

④集団で解決する場面。T1, T2は小集団での解決場面において、子どもたちの学び合いの様子をしっかり観察していたので、3通りの考えをスムーズに発表させることができた。

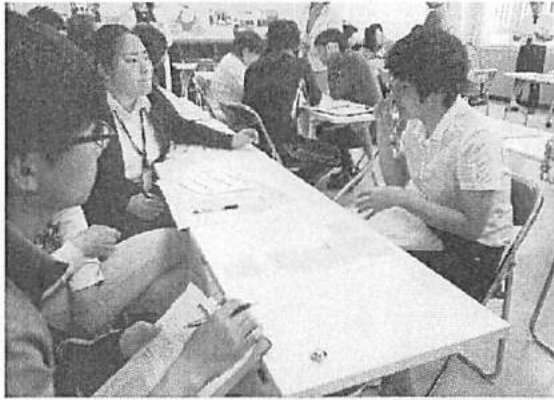


式

☆感想☆
 ①は二つ目の式を解けました。そのときに
 むんがさしなちて子たてられたため二目
 しかがかんせいしました。かつかえはないから
 ないがまやぶんいた)するのがむずか
 かったです。

⑤「計算スペース」は、子どもたちが必死に考え
 学び合った思考の足跡。こういう努力を積極的に
 評価したい。

⑥子どもたちの「振り返り」。「だれが」「どういう発
 言をした」「それでどうなったか」が書かれていた。

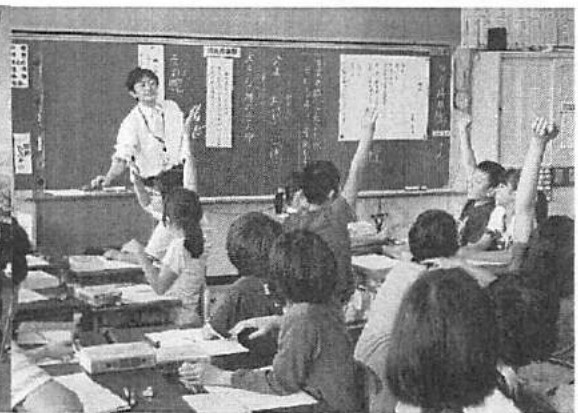
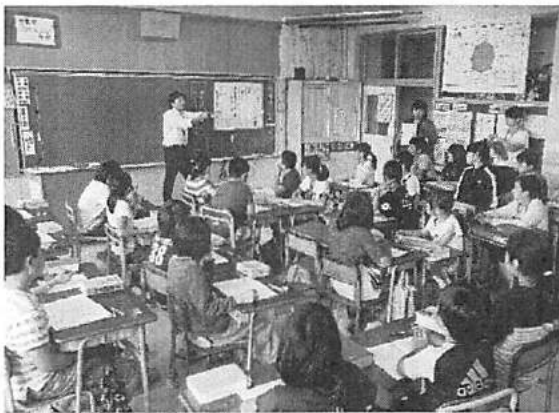


⑦当日の放課後に行われた事後検討会。4グループ編成で、児童の変容に着目した検討が行われた。

5年2組 国語 単元名「詩を味わおう」

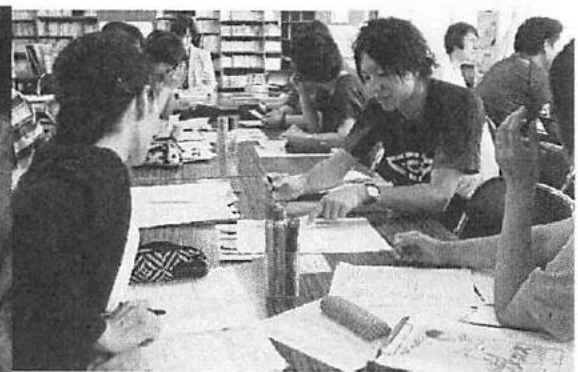
9月14日（金）実施

（教諭 文屋 薫）



①本時で取り扱う詩を提示し、内容を確認している場面。コの字型で子どもたちは集中し、担任の発問に即座に反応していた。

②ジャンプ課題の提示。児童は「お父」の気持ちを想像し、どんな気持ちを抱いていたか積極的に発表していた。



③自分の考えや話し合ったことから、自分の考えが伝わるような音読の工夫について、グループで話し合っている様子。

④当日の放課後、5グループ編成で事後検討会を行った。

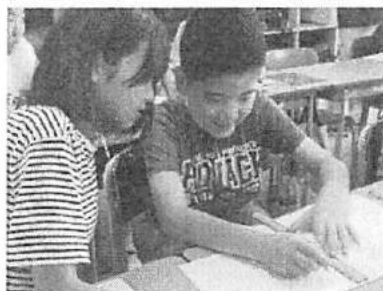
(3) 塩竈市立第三小学校

<今年度実施した研究授業について>

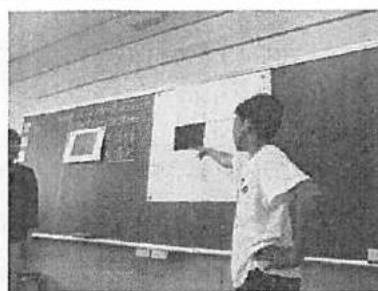
回	日時	実施教科	授業者	参観者	備考
1	6月5日(火)	6年算数	三浦 智穂 佐藤 善威	全校	
2	6月12日(火)	3年算数	鈴木 昭太 朗	全校 宮教大金田准教授	第1回パイロットスクール授業研究会として実施
3	9月27日(火)	4年算数	赤間 広美	全校	

<授業のようす>

(1) 第1回 6年1組 算数「分数のかけ算」



ペアで解法を探る

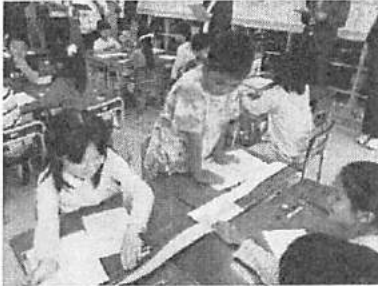


解法の一つを発表

(2) 第2回 3年2組 算数「重なりに目をつけて」

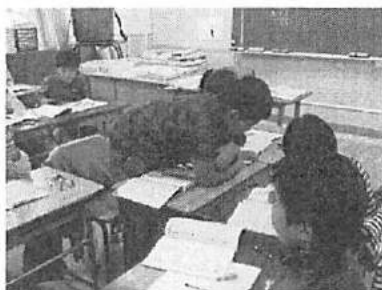


「解いてみたい」課題の提示

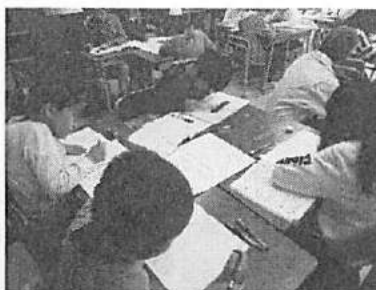


具体物を使つての課題解決

(3) 第3回 4年2組 算数「わり算のひっ算」



分からない人には教える



ジャンプ課題に取り組む

<今後の予定>

回	日時	実施教科	授業者	参観者	備考
4	10月25日 (水)	各担任	全担任	中学校区	三小三中合同部会として実施
5	10月下旬	2年算数	麻生川 幸子	全校	
6	11月7日(水)	6年算数	小幡 藍	全校, 塩竈市・富谷市小中学校	パイロットスクール公開研究会として実施
7	12月上旬	4年算数	菅原 かおり	全校	市教委訪問として実施
8	1月22日(火)	1年算数	佐藤 志帆	全校	第2回パイロットスクール授業研究会として実施
9	2月下旬	5年算数	立花 暁子	全校	市教委訪問として実施

(4) 塩竈市立月見ヶ丘小学校

<これまでに実施した研究授業について>

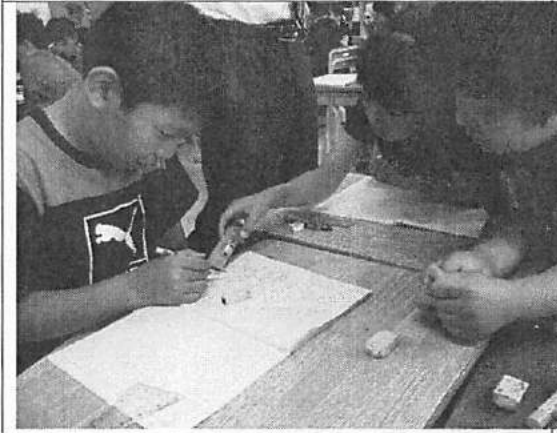
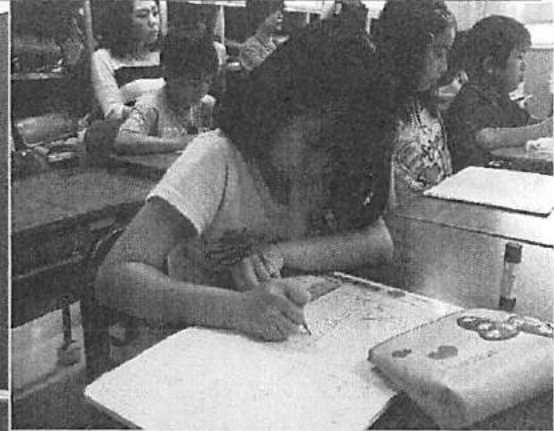
No	項目	内容
授業Ⅰ	(1)日時	平成30年6月19日(火)
	(2)実施教科	4年2組 算数「わり算の筆算」
	(3)授業者	海川 雪乃
	(4)参観者	中学年部(中学年部授業研究会)
授業Ⅱ	(1)日時	平成30年6月25日(月)
	(2)実施教科	4年1組 算数「わり算の筆算」
	(3)授業者	千葉 浩司
	(4)参観者	全教員(全校授業研究会)
授業Ⅲ	(1)日時	平成30年9月11日(火)
	(2)実施教科	特別支援学級(知的) 生活単元「かいだんをじょうずにおりよう」
	(3)授業者	前川 義信
	(4)参観者	全教員(全校授業研究会, 児童理解)
授業Ⅳ	(1)日時	平成30年9月11日(火)
	(2)実施教科	特別支援学級(自・情) 生活単元「おいわいをしよう」
	(3)授業者	千葉 英明
	(4)参観者	全職員(全校授業研究会, 児童理解)
授業Ⅴ	(1)日時	平成30年9月20日(木)
	(2)実施教科	2年2組 算数「長方形と正方形」
	(3)授業者	大友 花菜子
	(4)参観者	低学年部(低学年部授業研究会)
授業Ⅵ	(1)日時	平成30年9月27日(木)
	(2)実施教科	2年1組 算数「長方形と正方形」
	(3)授業者	萩原 清
	(4)参観者	全職員(全校授業研究会)

<今後の予定>

No	項目	内容
授業Ⅶ	(1)日時	平成30年11月15日(木)
	(2)実施教科	5年1組 算数「三角形と四角形の面積」
	(3)授業者	渡邊 敏博
	(4)参観者	高学年(高学年部授業研究会)

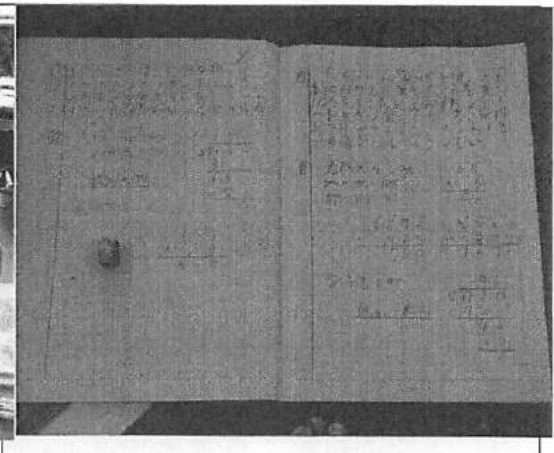
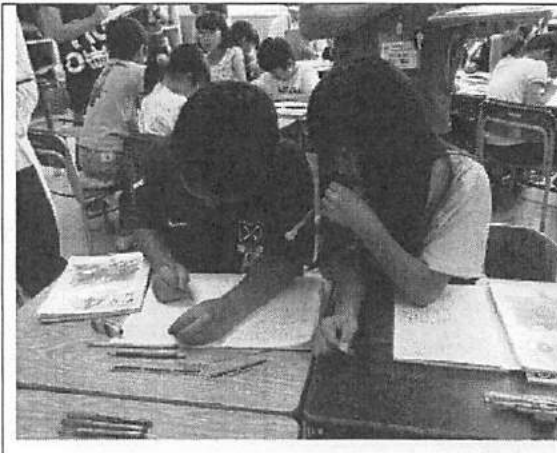
授業Ⅷ	(1)日時	平成30年11月20日(火)
	(2)実施教科	5年1組 算教「三角形と四角形の面積」
	(3)授業者	武山 愛花
	(4)参観者	全教員(全校授業研究会)

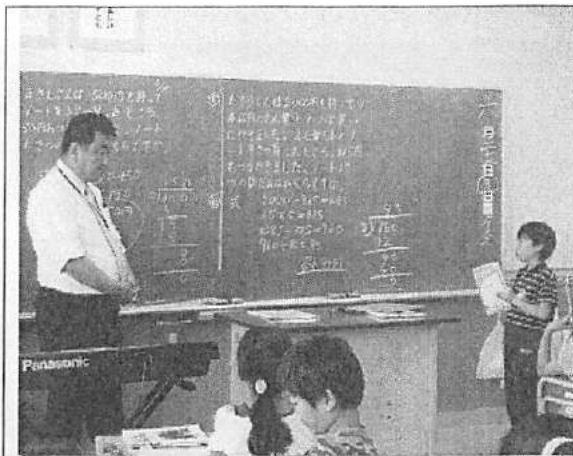
◆授業Ⅰ



- ① ジャンプ問題を提示。
- ② 既習事項の共有の課題への取組。
- ③ 既習事項を使って解くジャンプ問題に取り組んでいます。分からないときにはグループの友達に聞いたり、教え合ったりする。

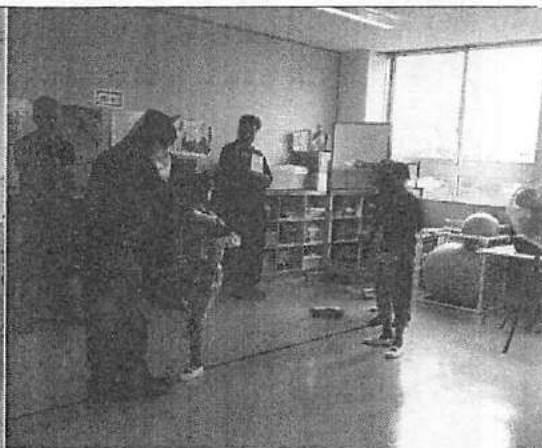
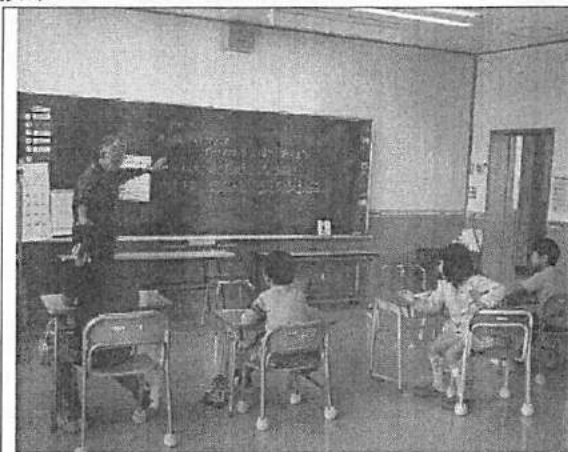
◆授業Ⅱ





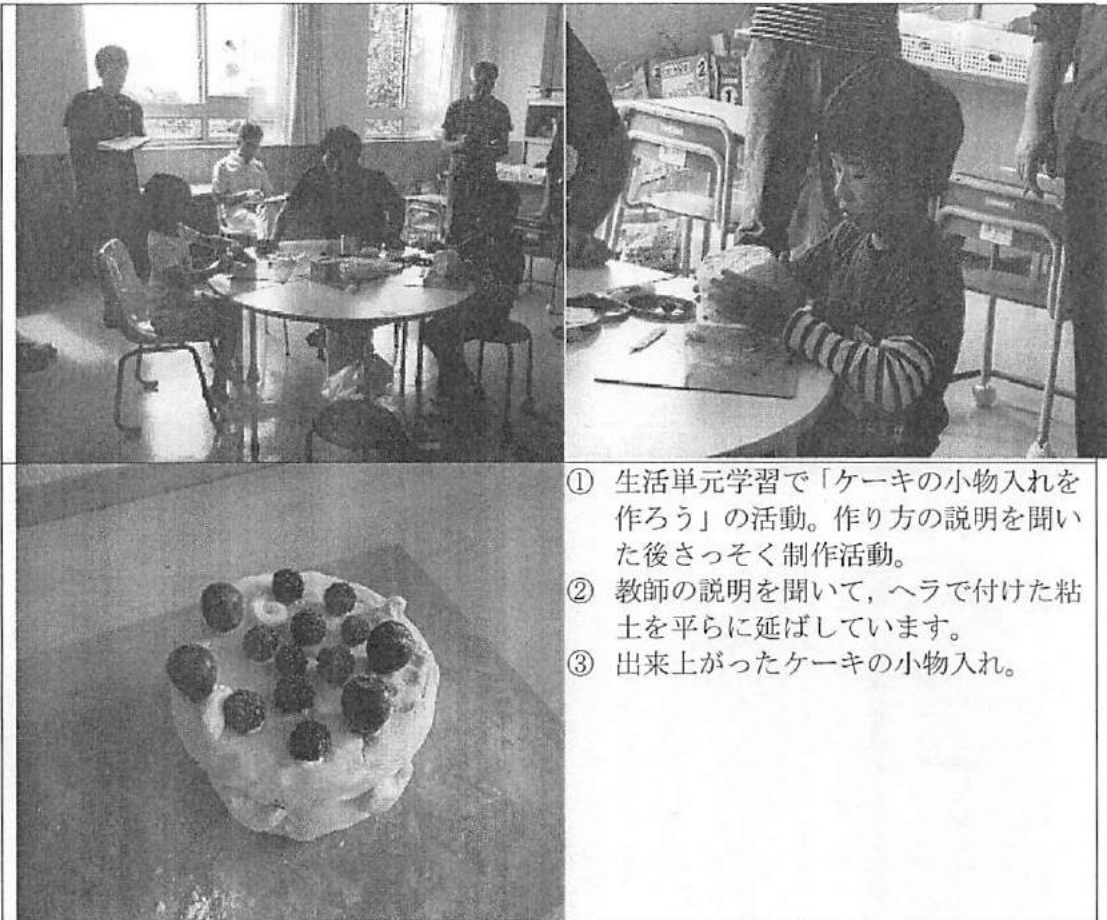
- ① 既習事項を使って解くジャンプ問題に取り組んでいます。分からないときにはグループの友達に聞いたり、教え合ったりする。
- ② ジャンプ問題を解いたノート。(右側)
- ③ ジャンプ問題の学級での共有。

◆授業Ⅲ

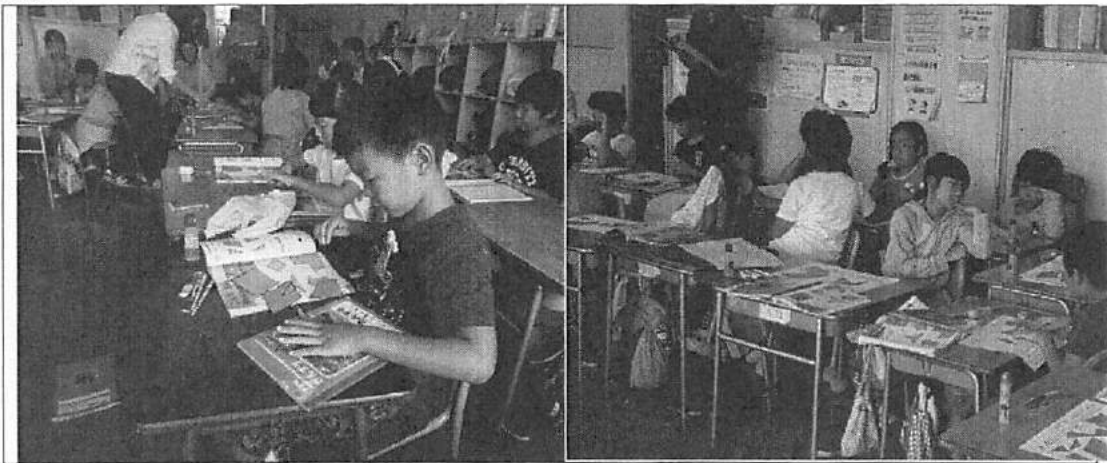


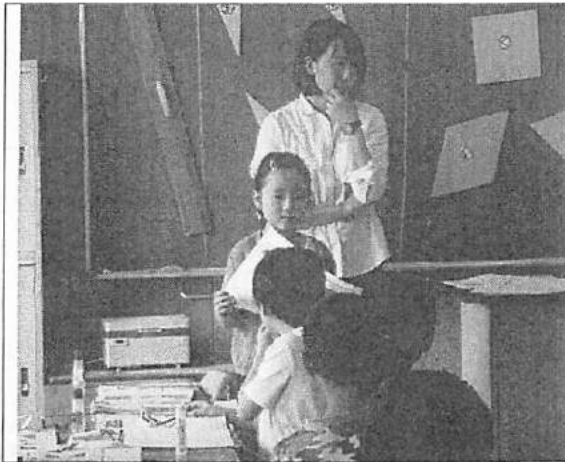
- ① 生活単元学習で本時の学習課題を提示。「にんじゃになってかいだんをしっかりおろよう」
- ② 忍者バランス訓練メニューへの取組。けんけんでの歩行。
- ③ 補助をしてもらってのボール座り。

◆授業Ⅳ



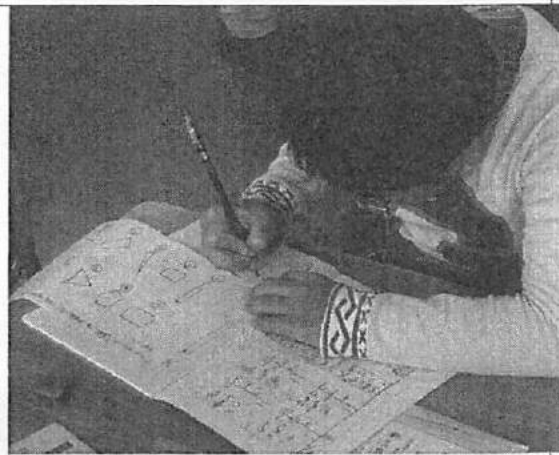
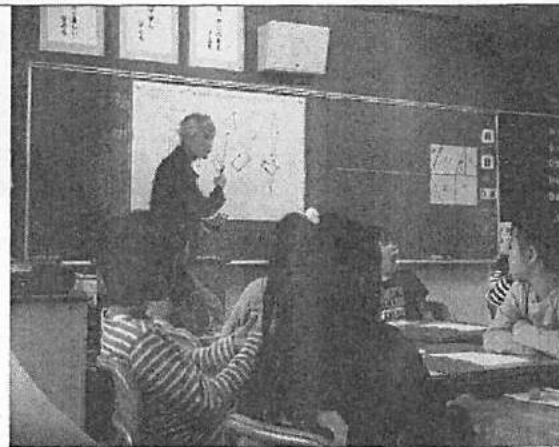
◆授業Ⅴ





- ① 共有の課題への取組。三角形と四角形を組み合わせて教科書と同じイラストを作ろう。
- ② パズルの図形を二つの仲間に分けるジャンプ課題。どこに目を付けて分けたらいいのか、近くの友達と話し合いの様子。
- ③ どのように分けたのか、みんなの前で発表による共有。

◆授業VI




- ① ジャンプ問題の提示。「パズルを二つの仲間に分けるとしたらどのように分けるか」
- ② 隣の人と、グループでの学び合い。どんな視点で分けるのか話し合い。
- ③ 学習のまとめの後は、ノートに一人一人学習感想を記入。

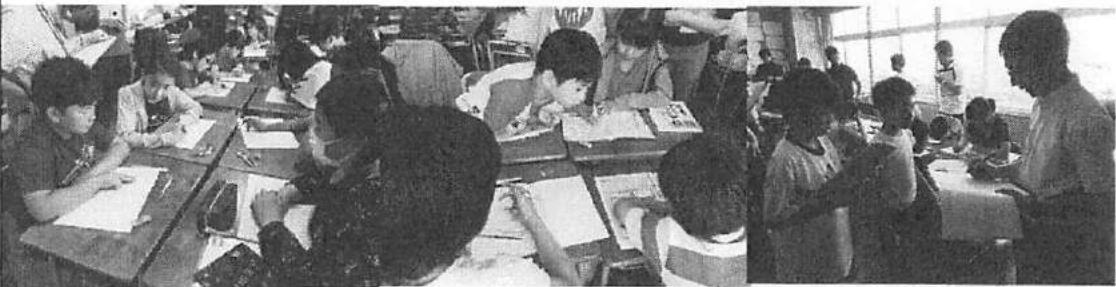
(5) 塩竈市立杉の入小学校

I 校内授業研の記録

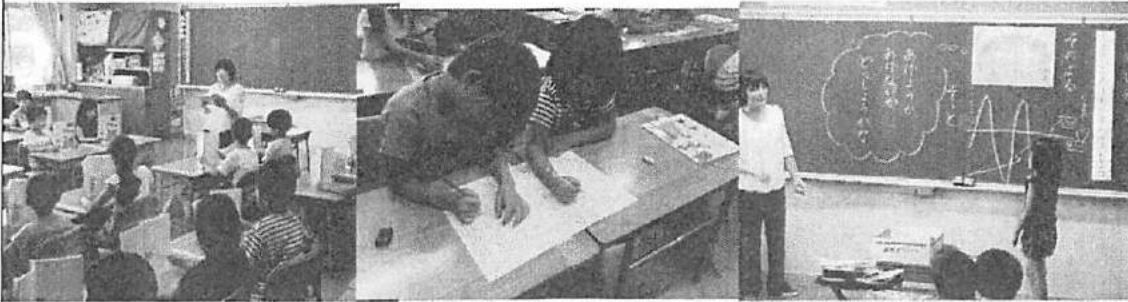
【第1回校内授業研・初任者研修】

(1) 日時	平成30年 6月21日(木)
(2) 実施教科	国語(单元名「お手紙」)
(3) 授業者	2年3組担任 教諭 関 奈々江
(4) 参観者	25名(全校及び初任者研修拠点校指導教員)
(5) 写真:授業の様子	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">①</div> <div style="text-align: center;">②</div> <div style="text-align: center;">③</div> </div> 
(6)	事前授業として、2年1組担任の佐藤友恵教諭と2年2組担任の伊丹牧子教諭が、同じ指導内容で授業を行った。参観者は7名(低学年部を中心に全校)。

【第2回校内授業研修・市教委学校訪問(1回目)】

(1) 日時	平成30年6月25日(月)
(2) 実施教科	算数「小数のわり算」
(3) 授業者	少人数指導担当 教諭 石田 佳絵, 6年1組担任 教諭 中島 竜之
(4) 参観者	24名(全校)
(5) 写真:授業の様子	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">④</div> <div style="text-align: center;">⑤</div> <div style="text-align: center;">⑥</div> </div> 
(6)	事前授業として、6年2組担任の鈴木孝子教諭と少人数指導担当石田佳絵教諭のTT指導で、同じ指導内容で授業を行った。参観者は6名(高学年部を中心に全校)。

【第3回校内授業研修・市教委学校訪問（2回目）】

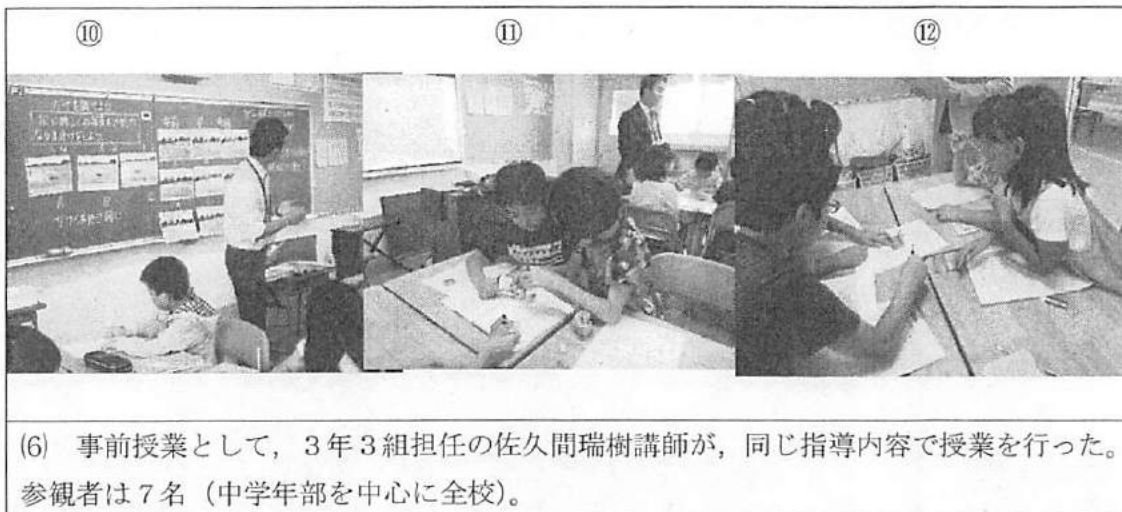
(1) 日時	平成30年9月7日（金）
(2) 実施教科	国語（単元名：「かいがら」）
(3) 授業者	1年1組担任 教諭 日野 江美
(4) 参観者	24名（全校）
(5) 写真：授業の様子	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> ⑦  ⑧ ⑨ </div>
(6) 事前授業として、1年2組担任の阿部三智子教諭と1年3組田口将範講師が、同じ指導内容で授業を行った。参観者は各回7名（低学年部を中心に全校）。	

【指導主事学校訪問 授業Ⅰ】

(1) 日時	平成30年10月 1日（月） 5校時
(2) 実施教科	道徳（題材名：「勇気を出して」）
(3) 授業者	1年2組担任 教諭 阿部 三智子
(4) 参観者	14名（教育事務所指導主事，市教委指導主事，塩竈二中教員，本校低学年部担任等）
(5) 写真：授業の様子	（なし）
(6) 事前授業として、1年1組担任の日野江美教諭と1年3組田口将範講師が、同じ指導内容で授業を行った。参観者は各回7名（低学年部を中心に全校）。	

【指導主事学校訪問 授業Ⅱ】

(1) 日時	平成30年10月 1日（月） 5校時
(2) 実施教科	理科（単元名：「太陽とかげの動きを調べよう」）
(3) 授業者	3年2組担任 教諭 佐藤 均
(4) 参観者	14名（教育事務所指導主事，市教委指導主事，塩竈二中教員，本校中学年部担任等）
(5) 写真：授業の様子	



【指導主事学校訪問 授業Ⅲ】

(1) 日時	平成30年10月 1日（月） 5校時
(2) 実施教科	国語（单元名：「和の文化について調べよう」）
(3) 授業者	5年1組担任 教諭 曾根 義人
(4) 参観者	15名（教育事務所指導主事，市教委指導主事，塩竈二中職員，本校高学年部担任等）

(5) 写真：授業の様子



II 今後の授業研修の計画

【第4回校内授業研修・市教委学校訪問（3回目）】

(1) 日時	平成30年10月12日（金）
(2) 実施教科	国語
(3) 授業者	3年3組担任 教諭 日下秀之
(4) 参観者の範	全校

用	
(5) 事前授業として、3年3組担任の佐久間瑞樹講師が、同じ指導内容で授業を行う予定。参観者は中学年部を中心に全校に呼び掛ける。	

【第5回校内授業研修・市教委学校訪問（4回目）】

(1) 日時	平成30年11月 1日（木）
(2) 実施教科	国語
(3) 授業者	6年1組担任 教諭 中島 竜之
(4) 参観者の範囲	全校
(5) 事前授業として、6年2組担任の鈴木孝子教諭が、同じ指導内容で授業を行う予定。参観者は高学年部を中心に全校に呼び掛ける。	

【第6回校内授業研修・初任者研修】

(1) 日時	平成30年11月 8日（木）
(2) 実施教科	国語
(3) 授業者	2年3組担任 教諭 関 奈々江
(4) 参観者の範囲	全校
(5) 事前授業として、2年1組担任の佐藤友恵教諭が、同じ指導内容で授業を行う予定。参観者は低学年部を中心に全校に呼び掛ける。	

【第7回校内授業研修・市教委学校訪問（5回目）】

(1) 日時	平成30年11月27日（火）
(2) 実施教科	国語
(3) 授業者	4年1組担任 教諭 安藤 美実子
(4) 参観者の範囲	全校
(5) 事前授業として、4年2組担任の佐藤愛教諭が、同じ指導内容で授業を行う予定。参観者は中学年部を中心に全校に呼び掛ける。	

【第8回校内授業研修】

(1) 日時	平成30年11月（未定）
(2) 実施教科	生活単元等
(3) 授業者	わかば学級担任 教諭 丸中 新一 たんぼぼ学級担任 教諭 塚越 義尚 通級指導教室担当 教諭 八嶋 知子
(4) 参観者の範囲	全校

(6) 塩竈市立玉川小学校

【授業1：3年1組】

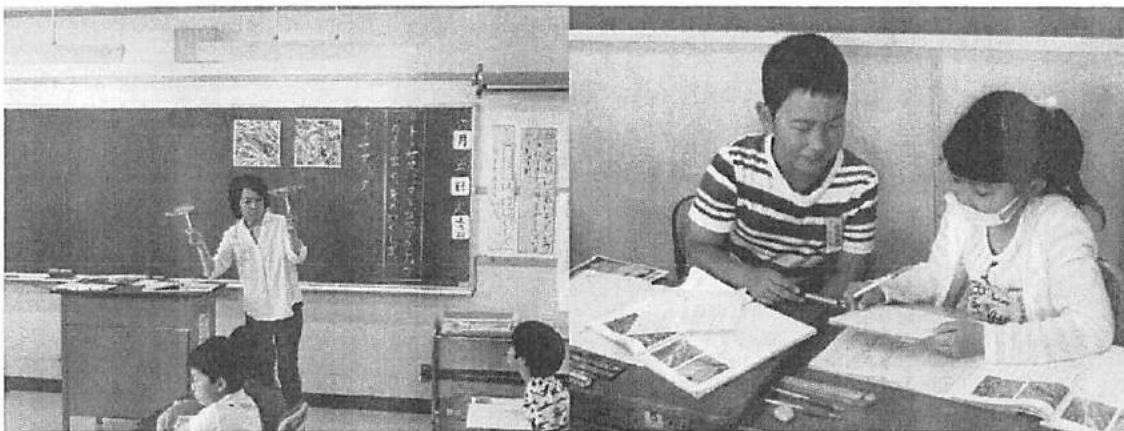
(1) 日 時： 6月 5日 (火) 2校時

(2) 実施教科： 国語科

単元名： 読んで、感想を伝え合おう「自然のかくし絵」

(3) 授業者： 森 房江

(4) 参観者： 全校対象 (20名) 校内研究



(5) 写 真：

□課題をつかみやすくしたり、読み取ったことを確認したりするために、ペープサートを利用している様子。

□ペアで話し合い、互いの考えを交流させている様子。自分の考えと同じか違うかというところを意識しながら、話し合いをするよう観点が示されている。



□板書の全体写真

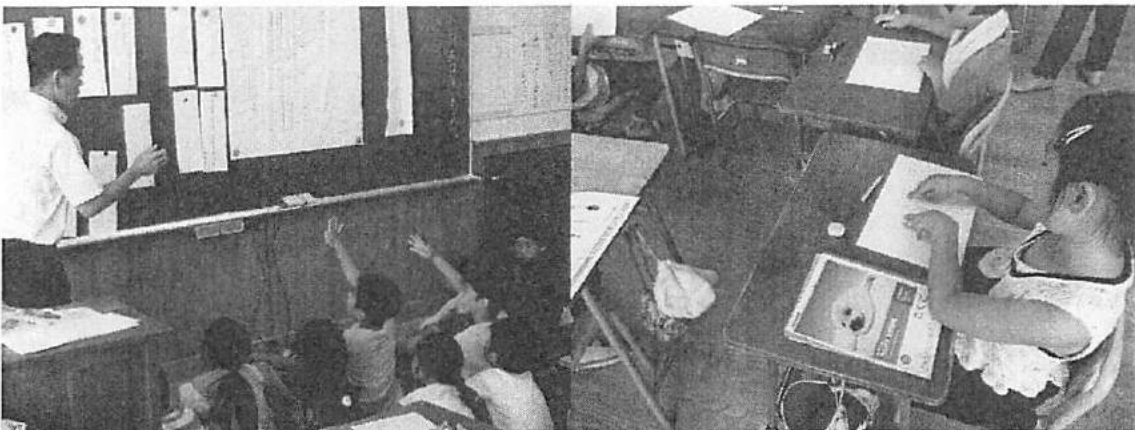
□ワークショップ形式で事後の検討会を行っている。個人で視点ごとによかった点や課題を見付け、色分けした付箋に書き込んだものを出し合い、グループの意見としてまとめて発表する。

【授業2：2年2組】

- (1) 日 時： 7月 5日 (木) 2校時
- (2) 実施教科： 国語科
単 元 名： 2つの説明文をくらべよう「ふろしきはどんなぬの」
- (3) 授 業 者： 大山 博樹
- (4) 参 観 者： 全校対象 (20名) 校内研究
- (5) 写 真：

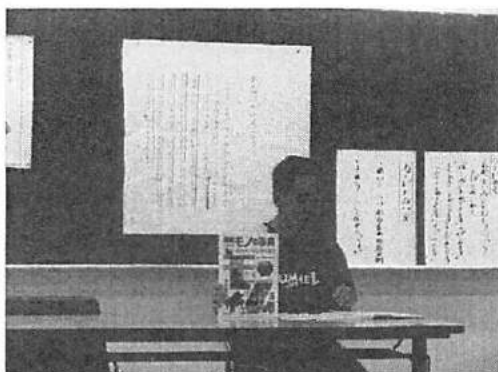


□学びの共同体による授業作りの一環として、コの字の机の配置で授業を行っている様子。



□短冊を使って、より多くの考えを紹介している。

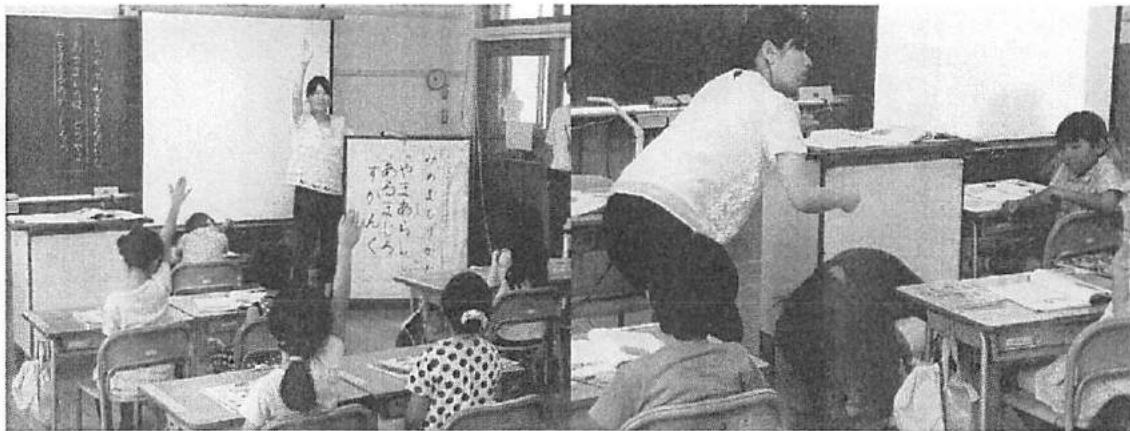
□本時は、ジャンプ問題に挑戦する時間だったので、難しい課題に真剣に向き合い、まずじっくりと考える児童が多かった。



□事後検討の自評では、ジャンプ問題を準備するに当たり、題材とする文章を探し出すのにとっても苦勞したことが話された。

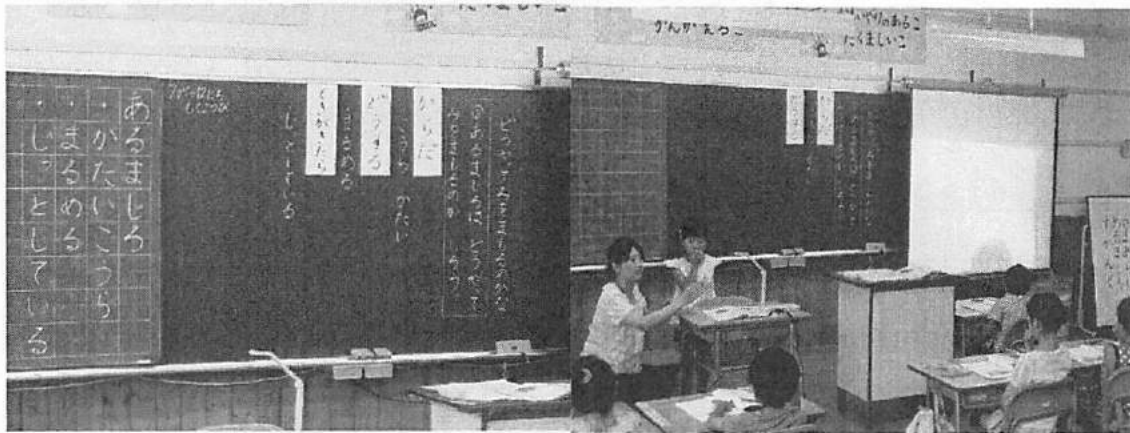
【授業3：1年2組】

- (1) 日 時： 7月12日（木）2校時
- (2) 実施教科： 国語科
 単元名： 「どうやってみをまもるのかな」
- (3) 授業者： 勝浦 麻友
- (4) 参観者： 全校（20名） 初任研2年目研修
- (5) 写 真：



□小黒板を用いて、入門期におけるノート指導を行ったり、本時の学習の確認をしたりしている。

□動物の様子を動作化させ、身の守り方を確認させる。



□板書の様子。

□ビジュアルプレゼンターを活用し、教科書を投影し、児童の考えの根拠が文章の中のどこにあるのかを、一斉に確認させる。

【授業2：4年2組】

(1) 日 時： 9月 5日 (水) 2校時

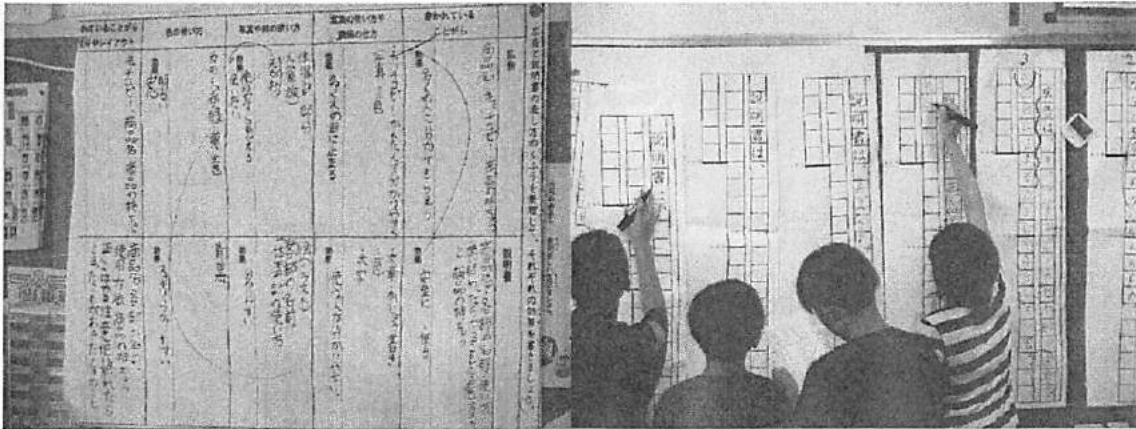
(2) 実施教科： 国語科

単元名： 身の回りの文章を読み比べよう「広告と説明書を読みくらべよう」

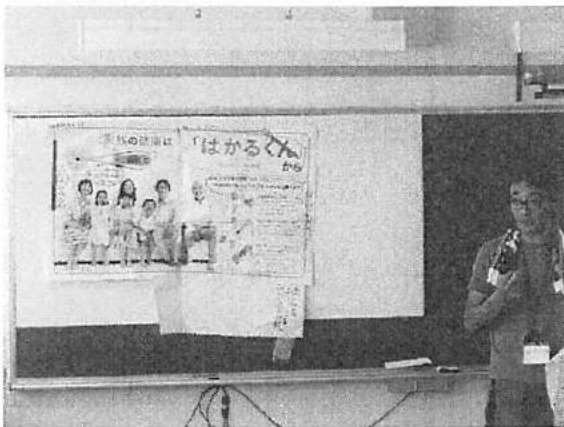
(3) 授業者： 阿部 敦

(4) 参観者： 全校対象(20名) 校内研究

(5) 写 真：

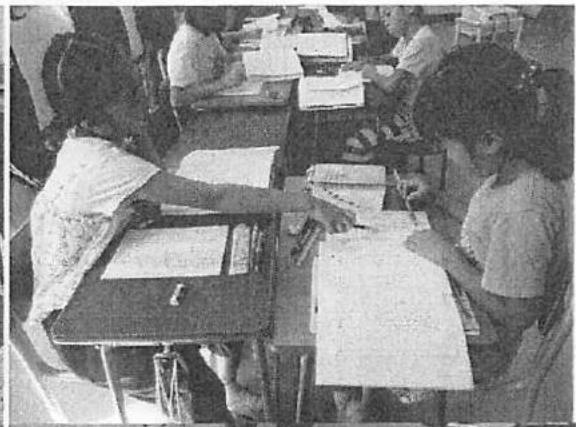


□前時のワークシートを掲示し、本時の学習課題を解説するための手がかりとしている。
□書く活動(右)では、いくつかの条件や字数の制限などをして、書かせる活動を行った。
写真は、黒板に自分の考えを書き写している様子。



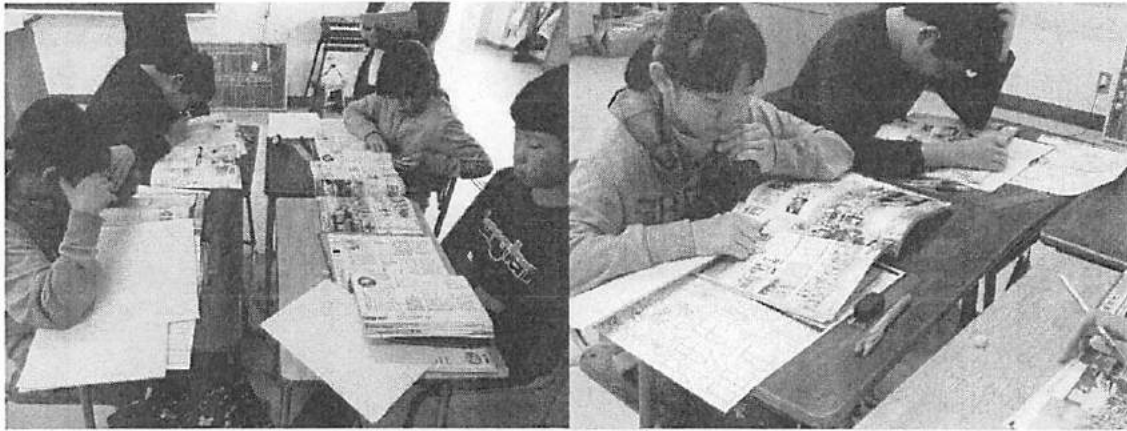
□非連続型テキスト教材の拡大提示。

□学び合いの様子。向かい合った友達と、教科書の文章から、大切な部分を指差しながら教え合っている様子。



【授業2：6年2組】

- (1) 日 時： 9月21日（金）2校時
- (2) 実施教科： 社会科
単 元 名： 「明治の国づくりを進めた人々」
- (3) 授 業 者： 大越 淳史
- (4) 参 観 者： 全校対象（20名） 提案授業
- (5) 写 真：



□社会科のジャンプ問題に取り組む様子。

□課題が難しいので、まず資料をもとに個で考えをまとめようとしている。



□個の考えから、学び合いが始まろうとしている様子。

□黒板に自分の考えをまとめたものを張っている様子。ここでも、友達との意見の交流が見られる。

※全て全校の先生方を対象にした参観授業なので、20名程度の参観者ですが、その日の出張者などの都合上、数名の人数の変動があります。

【今後の予定】

…1年 単元名のりもののことをしらべよう」

実施時期	実施学年 (教科)	単元名	授業者
11月 校内研	1年 (国語科)	のりもののことをしらべよう 「いろいろなふね」	勝浦麻友
11/12 指導主事訪問	5年 (国語科) 2年 (道徳) 4年 (算数科)	和の文化について調べよう 「和の文化を受けつぐ」 さるへいと立てふだ 広さを調べよう	板垣智佳 高橋由美 小野千恵子
11月 校内研	5年 (国語科)	和の文化について調べよう 「和の文化を受けつぐ」	松本智大
12月 校内研	6年 (国語科)	町の未来をえがこう 「町の幸福論」	小熊輝章

(7) 塩竈市立第一中学校
 <これまでに実施した研究授業について>

(1) 校内授業研究会

【第1回】 日 時 7月13日(金) 5校時
 実施教科 英語(3年) Daily Scene2 ~手紙~
 授業者 教諭 岩淵朋子
 参観者 全教員

①発表のルールや留意点について確認



②グループで発表練習を行う



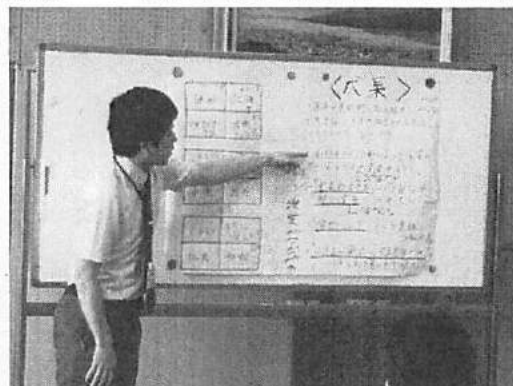
③グループで意見交換しながら、英文を推敲する ④成果を発表し、学級全体で共有する
 (ジャンプの課題)



⑤学年毎に生徒の変容について意見交換する



⑥学年毎に話し合い内容を発表



(2) 一中学区研修会

日 時 10月2日(火) 5校時

実施教科 数学(2年)

『一次関数のグラフが通り2点の座標がわかっているとき、
その一次関数の式をもとめることができる』

授業者 教諭 佐々木敦

参観者 一中・一小・二小の全教員

①授業会場の様子



②共有の課題に取り組む生徒



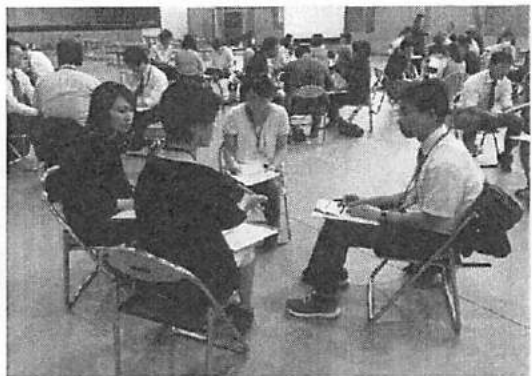
③苦手な生徒にアドバイスする生徒



④他の班から教えに来た上位群の生徒



⑤グループ討議の様子



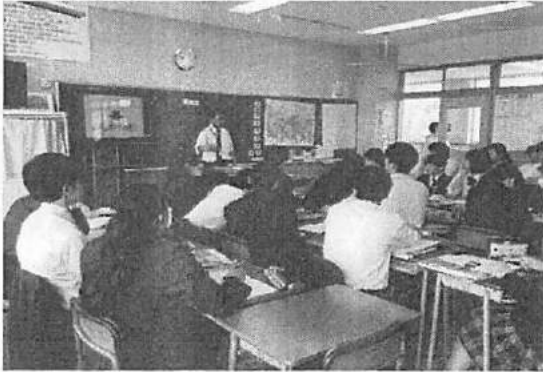
⑥塚本先生より指導助言をいただく



(3) 一人一授業公開

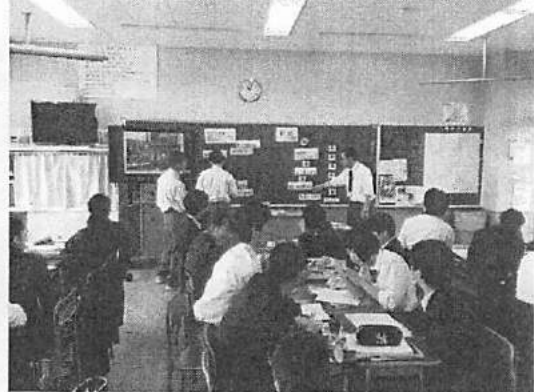
【授業①】 日 時 5月31日(木) 3校時
 実施教科 社会(3年) 世界恐慌と日本の中国侵略
 ～世界恐慌とニューディール政策・ブロック経済～
 参観者 全校(校長・教頭・越坂・加藤・佐敦・菅原・教育実習生)

① ICTを活用し、第二次世界大戦への興味を喚 ② 共有の課題に取り組む様子
 起する



③ カードを用いてジャンプの課題に挑戦

④ グループでまとめた考えを学級全体で共有

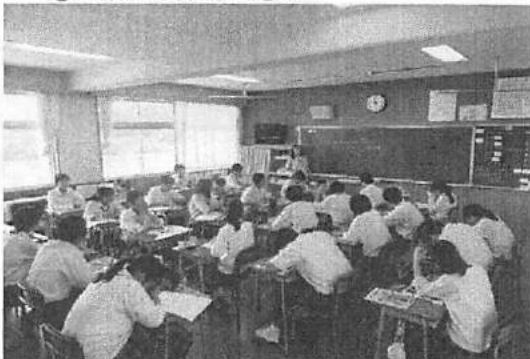


【授業②】 日 時 6月7日(木) 2校時
 実施教科 理科(2年) 化学変化と原子・分子
 ～化学変化を記号を用いて表そう～

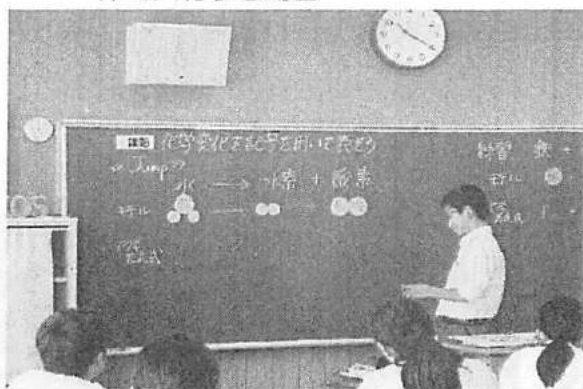
授業者 教諭 越坂由紀
 参観者 全校(校長・教頭・森・佐敦・石川)

① 共有の課題を提示

② ジャンプの課題に挑戦する様子



③グループでまとめた考えを発表し、学級全体で共有する場面



④適用問題に取り組み、知識の定着を図る



【授業③】 日 時 7月2日(月) 5校時
 実施教科 理科(3年) 酸とアルカリの反応
 ~中和と同時に起こる化学変化~
 授業者 教諭 菅原徳朗
 参観者 全校(校長・教頭・越坂・青嶋・佐真・佐敦)

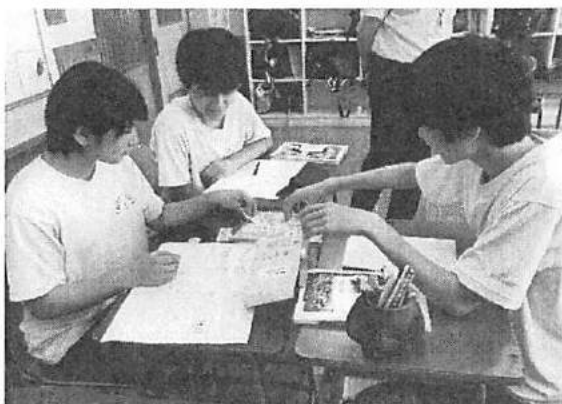
①共有の課題の提示



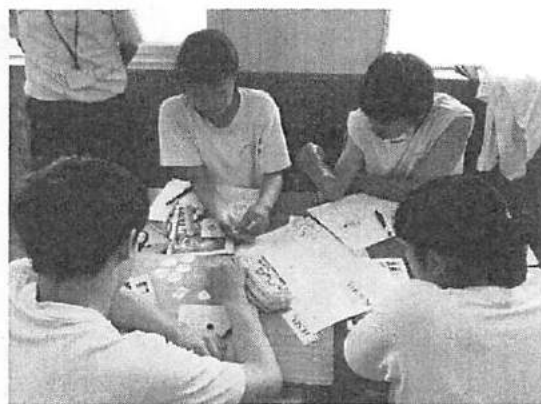
②共有の課題を確認する



③モデルを用いてジャンプの課題に挑戦する



④ジャンプの課題に挑戦する

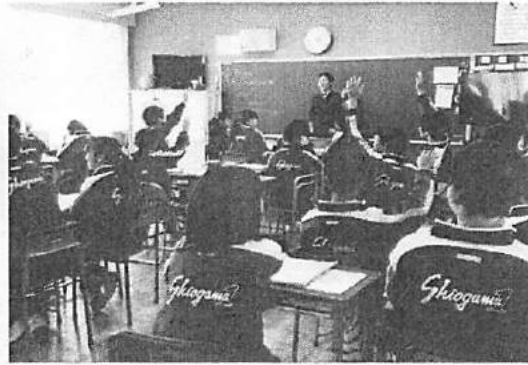


【授業④】 日 時 9月28日(金)
 実施教科 英語(2年) Daily Scene3 ~メール~
 授業者 講師 佐藤翔
 参観者 学年部を中心とした全校(校長・教頭・2学年・英語科)

①ペアで発表練習を行う



②ゲーム形式で発表を促す



③グループでジャンプの課題に挑戦する



④完成した文章を発表し、成果を学級で共有する



2 今後の予定

(1) 校内授業研究会

【第2回】 日 時 10月17日(水) 5校時
 実施教科 技術家庭科(2年)
 授業者 教諭 今野房子
 参観者 全教員

【指導主事訪問】

日 時	11月14日(水) 5校時		
実施教科	社会(1年)	道徳(2年)	保健体育(3年)
授業者	教諭 加藤知美	教諭 太田正吾	教諭 小笠原昌平
参観者	1学年	2学年	3学年

【第3回】 日 時 12月17日(水) 5校時
 実施教科 英語(学年未定)
 授業者 教諭 高城志麻
 参観者 全教員

(8) 塩竈市立第二中学校

<これまでに実施した研究授業について>

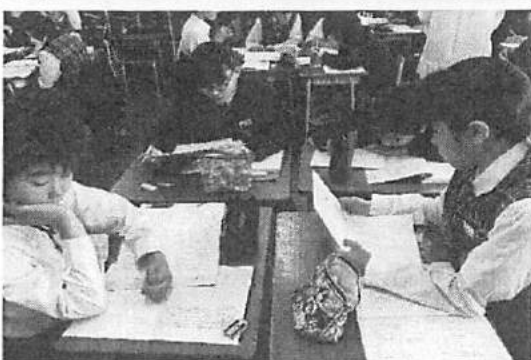
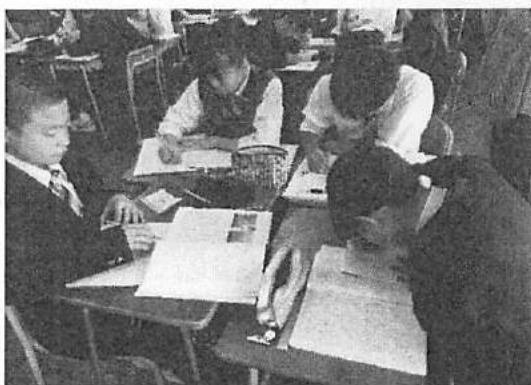
(1) 日時, 実施教科・年組, 授業者, 参観者(人数)

No.	日時・校時	実施教科・年組	授業者	参観者(人数)
1	5月24日(木)	国語(2-3)	繁田 由美	学年部+管理職
2	5月28日(月)	技術(3-2)	石川 誠	学年部+管理職
3	6月28日(木)	数学(1-1)	笠原 忠裕	学年部+管理職
4	〃	数学(2-1)	鈴木 諒	学年部+管理職
5	〃	数学(3-2)	吉田 貴代実	学年部+管理職
6	〃	数学(3-2)	村上 尚輝	学年部+管理職
7	7月11日(水)	美術(2-3)	戸枝 ゆかり	学年部+管理職
8	〃	英語(3-1)	宮島 郁	学年部+管理職等
9	〃	家庭(1-3)	佐藤 いづみ	学年部+管理職
10	9月10日(月)	英語(1-2)	坂本 英子	学年部+管理職等
11	〃	理科(2-3)	加賀谷 亮太	学年部+管理職等
12	〃	社会(3-2)	春原 圭佑	学年部+管理職等
13	10月2日(火)	理科(3-3)	石川 美由紀	学年部+管理職

※7月11日は市教委訪問, 9月10日は指導主事訪問

(2) 研究事業の様子について ①授業のねらい ②写真の説明 ③授業検討会

【No.1】2年3組 繁田 由美 国語 題材名「卒業ホームラン」

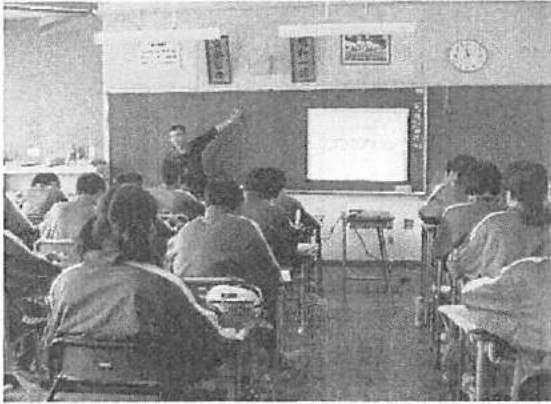


①「登場人物の言葉や行動から心情を読み取り, 自分の言葉で説明する」ことをねらいとした授業。

②グループでの話し合い風景。

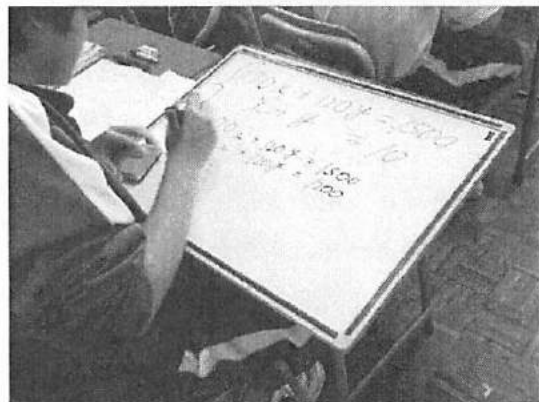
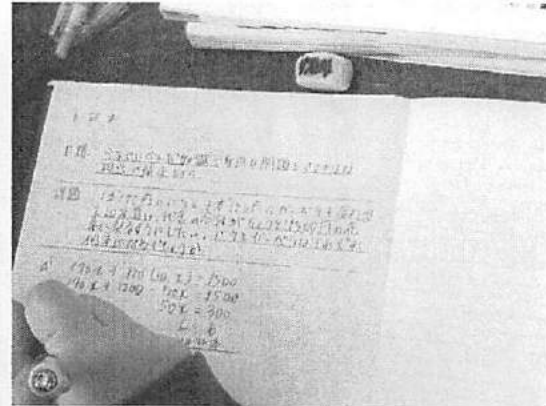
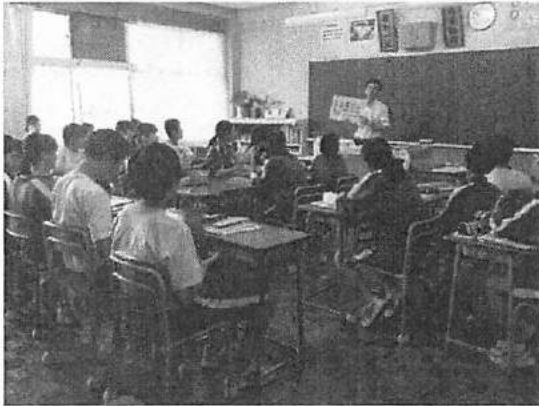
③たすき掛け4人組のグループ活動を取り入れたことによって, 新たな視点に気づいたり, 個人の考えをより深める機会となっていた。

【No.2】 3年2組 石川 誠 技術 題材名「コンピュータプログラムについて」



- ①迷路の進み方を例に、進み方を順序立てて表現し伝える活動
- ②プログラムの作り方をイメージし、グループで共有している風景
- ③学習形態について話題となり、本時の内容において、隣同士と向かい合う形のどちらが適しているかの意見交換がされた。

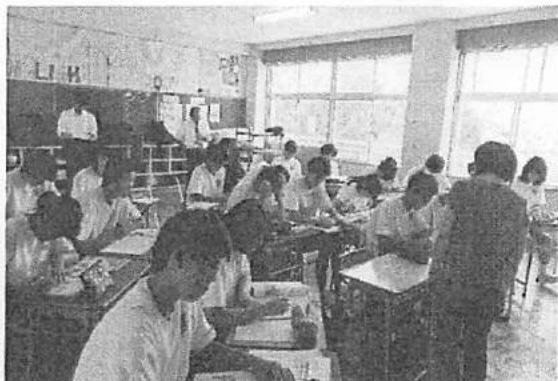
【No.4】 2年1組 鈴木 諒 数学(少人数指導) 単元名「連立方程式の利用」



- ①課題に対して既習事項を用いながら様々な解き方を考えさせ、最も効果的な解法を導く授業
- ②個人でアプローチした解法をノートに記入し、グループで共有。最も効果的な解法をパネルに記載し発表する。

【No.8】3年1組 宮嶋 郁 英語 (少人数指導)

単元名 Unit 3-2 Dialog 「現在完了形 (完了用法)」



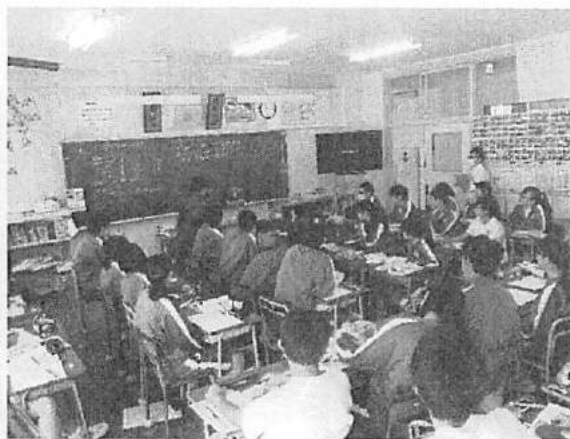
- ①現在完了形の英文を用いて、ある行動を「既に終わっているかどうか」を尋ねたり、答えたりする対話の活動と英文を書く活動
- ②教科書の基本文を学習後、生徒がペアになり、スキットや対話のための練習を行っている。
- ③意図的な座席配置により、「教え合い、学び合い」が、より効果的になされていた。

【No.12】3年2組 春原 圭佑 社会 単元名「現代社会の見方や考え方」



- ①「効率と公正」とはどのような考え方なのかを学ぶ授業。グループを部活動に見立て、100万円の部費をどう分配するかを考えさせることで「効率と公正」を学ぶ授業
- ②グループ毎に予算を考え、討論しながら予算を決定している光景
- ③身近で考えやすい課題設定が、生徒の理解に結びついていた。より話し合い活動を充実させるための工夫について話し合われた。

【No.13】 3年3組 石川 美由紀 理科 題材名「力学的エネルギーの保存」



- ①「力学的エネルギーの保存」についての授業
- ②法則について学習した後、バランスボールの動きについてグループで考え、その理由について3つのキーワードを用いながら説明させた
- ③ジャンプ課題を授業の最初・中間・後半のどの場面で提示すると生徒がより活発に学び合えるのかが話題となった。

<今後の予定>

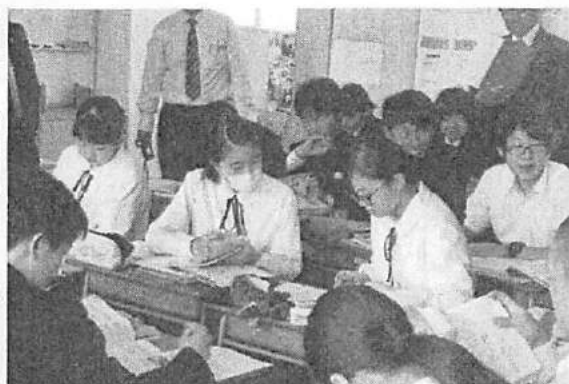
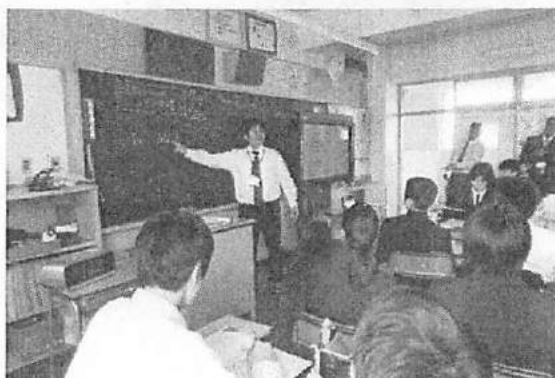
No.	日時・校時	実施教科・年組	授業者	参観者(人数)
1	10月24日	保体(1-1.2)	熊谷 孝彦	学年部+管理職(名)
2	11月20日	社会(1-3)	手代 勝巳	学年部+管理職(名)
3	12月19日	保体(1-1.2)	春原 実	学年部+管理職(名)
4	12月19日	国語(一)	市村 博	学年部+管理職(名)
5	1月11日	英語(一)	桑原 孝	学年部+管理職(名)
6	1月11日	音楽(2-1)	千葉 尚子	学年部+管理職(名)

(9) 塩竈市立第三中学校

<これまでに実施した研究授業について>

1回目

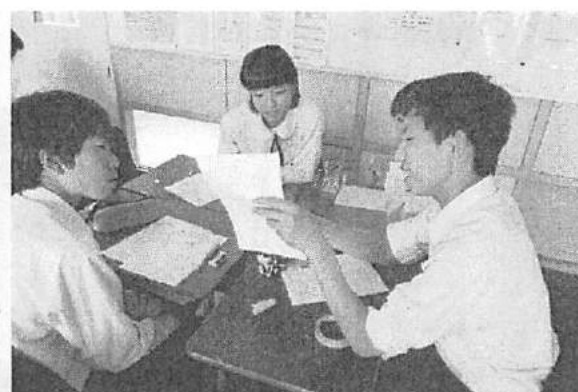
- (1) 日時 平成30年5月21(月)
- (2) 実施教科 3年 英語 題材名「日本文化の紹介文を書いて発表しよう」
- (3) 授業者 大谷 正博 教諭
- (4) 参観者 宮教大金田先生, 市教委星先生, 宍戸先生, 佐藤康一先生, 本校職員



- ① 既習の表現を活用して、日本文化について紹介する文章をつくる活動。
- ② 各自、紹介したい日本文化の内容を選び、紹介文をつくり隣同士で紹介し合う様子。
- ③ 学年部ごとにグループに分かれての事後検討会。生徒の名前を出しながら、一人一人の学びの様子について真剣に話し合いがなされた。
- ④ 宮城教育大学の金田准教授からは、生徒同士をどう「つなぐ」かが大切。学びに向かわせる「魅力的な課題」が重要であることなどをご助言いただいた。

2回目

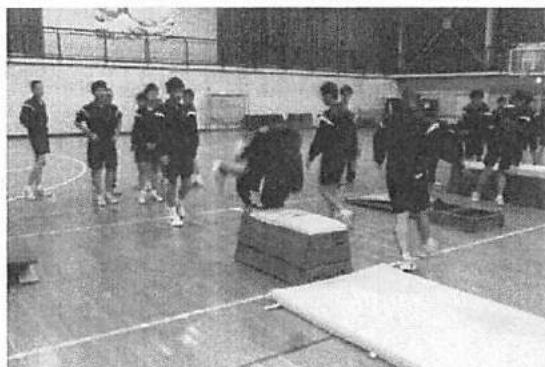
- (1) 日時 平成30年5月24日(木)
- (2) 実施教科 3年 数学 題材名「インド式かけ算の謎を探る！」
- (3) 授業者 新田 努 教諭
- (4) 参観者 佐藤康一先生, 本校職員10名, 第三小学校職員10名 計21名



- ① 『インド式かけ算』の仕組みを考えさせることで、多項式の考え方を活用する活動。
- ② ジャンプ課題「文字式を用いて説明してみよう」では、個人で考えた方法をワークシートに記入し、グループで検討した。
- ③ 事後の検討会では、生徒たちは最初から最後まで課題に集中できていた。グループで話し合うことで、苦手な生徒も学びに参加できていた。などの意見があった。また、理解力の差があっても学びが成立する魅力的な課題を設定するにはどうしたらよいか等について意見交換がなされた。

3回目

- (1) 日時 平成30年6月20日(水)
- (2) 実施教科 3年男子 保健体育 題材名 『台上前転』『頭はね跳び』から自己に適した技を選択し、マスターしよう
- (3) 授業者 植松 信行 教諭
- (4) 参観者 市教委佐藤康一先生、本校職員4名 計5名



- ① 「台上前転」→「頭はね跳び」と段階的な練習を行い、技の基本的な動きを身につける活動。
- ② 「一連の動作を滑らかに安定して行うにはどうしたらよいか」というジャンプ課題では、iPadを活用し、自分たちの動作を動画で確認し合いながら、改善点を探っていた。
- ③ 実技教科、特に体育の授業での話し合い活動では、ICTの活用が非常に効果的であること。ジャンプ課題の内容の工夫が不可欠である等についての意見交換がなされた。

4回目

- (1) 日時 平成30年7月19日(木)
- (2) 実施教科 音楽, 国語, 社会
- (3) 授業者 高橋世紀子教諭, 平田順子教諭, 久保井裕之教諭
- (4) 参観者 宮教大金田先生, 市教委佐藤康一先生, 本校職員5名 計7名
- (5) 写真



- ① 1年社会 「気候帯の分布の特徴」を考える活動。「何か法則性はないだろうか」という共通課題では、コの字型座席による話し合い活動で考えを深めた。
- ② 2年音楽 「混成三部合唱『マイバラード』」の授業。合唱コンクールへ向けて、より良い合唱にするためにはどうすればよいかグループで話し合いながら活動をしていた。
- ④ 3年国語 「熟語の構成・熟字訓」の問題演習の授業。周りの生徒と聞き合いながら問題を解決していた。

2 今後の予定

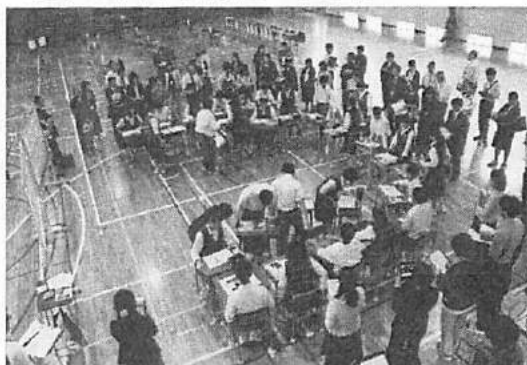
- (1) 日時 平成30年12月3日(月)
実施教科 2年 数学
授業者 千葉 史絵 教諭
参観者 宮教大金田先生, 市教委指導主事, 本校職員, 市内学力向上委員
- (2) 日時 平成31年1月中旬
実施教科 1年 国語
授業者 永澤 和子 教諭
参観者 宮教大金田先生, 市教委指導主事, 本校職員
- (3) 日時 平成31年2月
実施教科 2年 英語
授業者 田嶋 桃子 教諭
参観者 市教委指導主事, 本校職員

(10) 塩竈市立玉川中学校

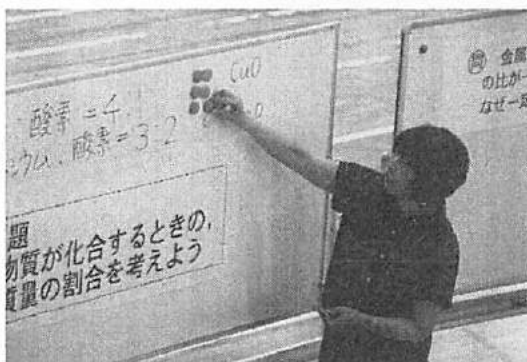
<これまでに実施した研究授業について>

○第1回校内研究授業&玉川中学校区小中一貫研修会

- (1) 平成30年6月12日(火)
- (2) 理科
- (3) 狩野明子
- (4) 玉川中学校区 80名



【体育館 玉川中学校区の教員が参加】



【授業者 狩野先生、2年4組 理科】



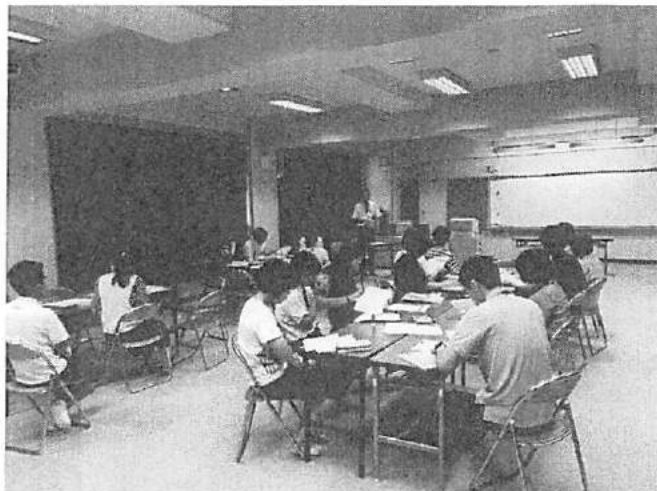
【4人グループでの学び合い】



【参観者グループ討議】

○第2回校内研究授業

- (1) 平成30年7月4日 (水)
- (2) 道徳
- (3) 庄司貴紘
- (4) 全校 28名

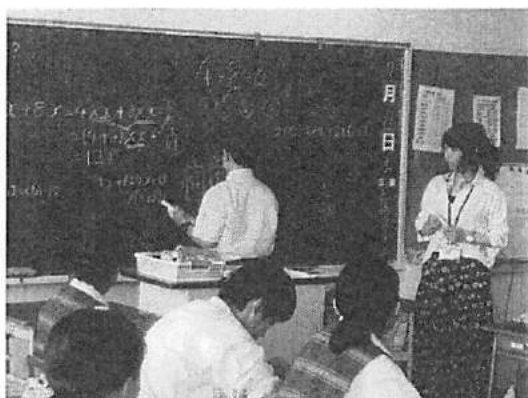


【各班からの発表】

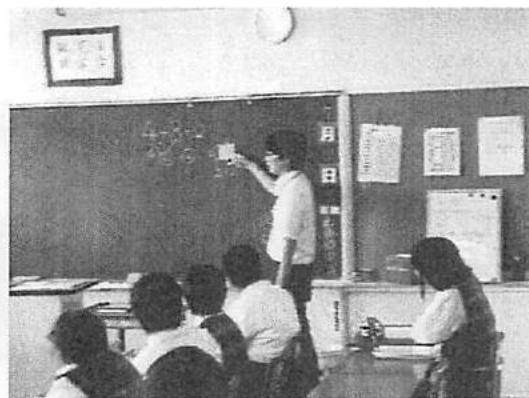
【道徳の評価についてグループ討議】

○第1回市教委訪問 (小中乗り入れ授業)

- (1) 平成30年7月11日 (水)
- (2) 数学
- (3) 渡邊絵梨果
- (4) 市教委・学年・研究部 10名



【授業者 渡邊先生】

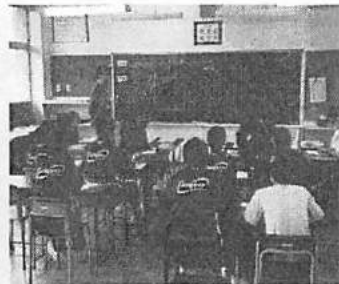


○一人一授業

- (1) 平成30年9月10日 (月)
- (2) 数学
- (3) 大友真紀子・草刈誠
- (4) 学年 5名



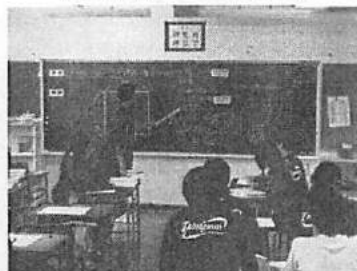
【授業者：大友先生】



【授業者：草刈先生】



【数学の学び合い】

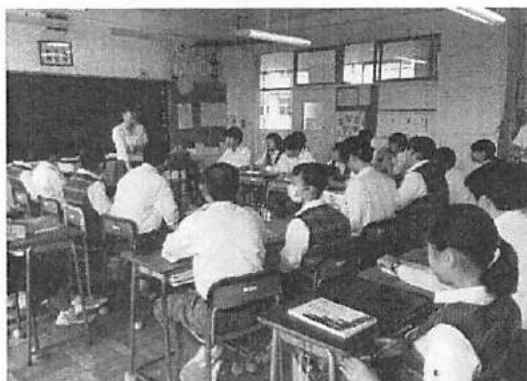


「2次方程式」

【生徒が説明する】

○第2回市教委訪問

- (1) 平成30年9月12日 (水)
- (2) 国語「絶滅の意味」
- (3) 小林美佐子
- (4) 市教委・学年・研究部 12名



【コの字型の授業】



【4人グループでの学び合い】



【4人グループでの学び合い】



【段落の並べ替えに挑戦中】

2 今後の予定

○市教研教科部会授業研修会

- (1) 平成30年10月4日(木)
- (2) 国語・数学・社会・理科・英語・音楽・美術・保健体育
- (3) 菅野浩子・高橋薫・勝又由佳子・菅原豊司・残間秋子・佐藤史絵
・太田美樹・板橋かおり・庄司貴紘
- (4) 市内中学校教員・教科ごと

○第3回市教委訪問&第3回校内研究授業

- (1) 平成30年11月13日(火)
- (2) 社会
- (3) 渋谷和彦
- (4) 市教委訪問・全校研究授業 35名

○第4回市教委訪問

- (1) 平成30年12月12日(火)
- (2) 英語
- (3) 秋山貴子
- (4) 市教委・学年部・研究部 10名

○一人一授業

*今後5回実施予定

(11) 塩竈市立浦戸小中学校

<これまでに実施した研究授業>

【第1回校内研究授業】

- (1) 日時 平成30年5月22日(火) 第1校時
- (2) 実施教科 道徳 園部秀雄-女性剣士 薙刀を通して心を磨く(『みやぎの先人集第2集』より)
- (3) 授業者 教諭 酒井 孝幸 (中3年担任)
- (4) 参観者 浦戸小7名 浦戸中8名 市教委1名

【第2回校内研究授業】

- (1) 日時 平成30年6月15日(金) 第1校時
- (2) 実施教科 道徳 やりぬく心 「まけるものか〜野口英世」
- (3) 授業者 教諭 川嶋 信一 (小3・4年担任)
- (4) 参観者 浦戸小7名 浦戸中8名 市教委1名

【第3回校内研究授業】

- (1) 日時 平成30年7月2日(月) 第1校時
- (2) 実施教科 道徳 自分と向き合う「二人の弟子」
- (3) 授業者 教諭 岩淵 奈津乃 (中2年担任)
- (4) 参観者 浦戸小7名 浦戸中7名 市教委1名

【第4回校内研究授業】

- (1) 日時 平成30年9月4日(火) 第4校時
- (2) 実施教科 道徳 全力を尽くすとは「サッカーワールドカップ ポーランド戦」
- (3) 授業者 教諭 熊谷 崇広 (小5・6年担任)
- (4) 参観者 浦戸小7名 浦戸中8名 教育事務所2名 市教委2名

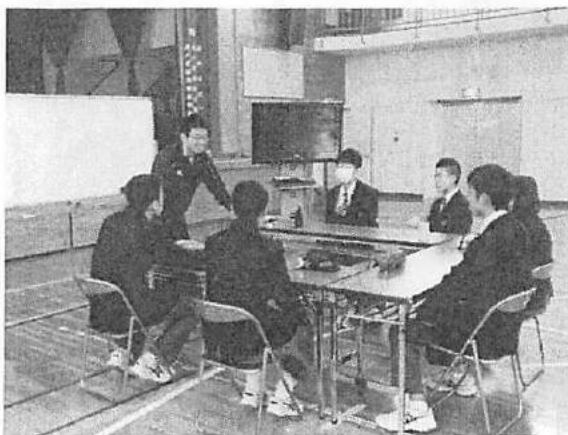
【第5回校内研究授業】

- (1) 日時 平成30年9月4日(火) 第4校時
- (2) 実施教科 道徳 協力することの大切さ 「みんなでとんだ!」
- (3) 授業者 教諭 岩淵 奈津乃 (中2年担任)
- (4) 参観者 浦戸小7名 浦戸中8名 教育事務所2名 市教委2名

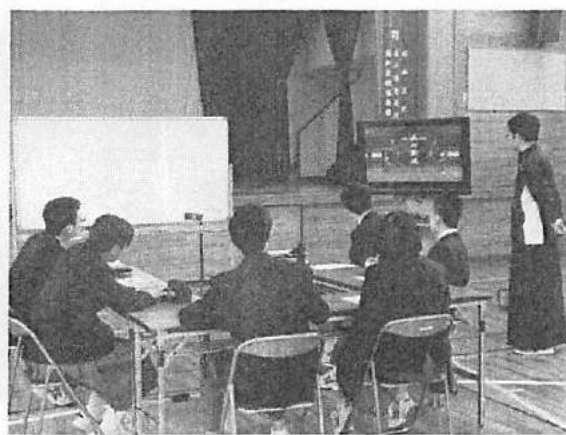
【第6回校内研究授業】

- (1) 日時 平成30年9月28日(金) 第1校時
- (2) 実施教科 道徳 助け合う友達 「森のともだち」
- (3) 授業者 講師 山岸 海 (小2年担任)
- (4) 参観者 浦戸小5名 浦戸中7名 市教委1名

① 5/22 中3 道徳 薙刀を通して心を磨く「園部秀雄」(授業者:酒井孝幸)



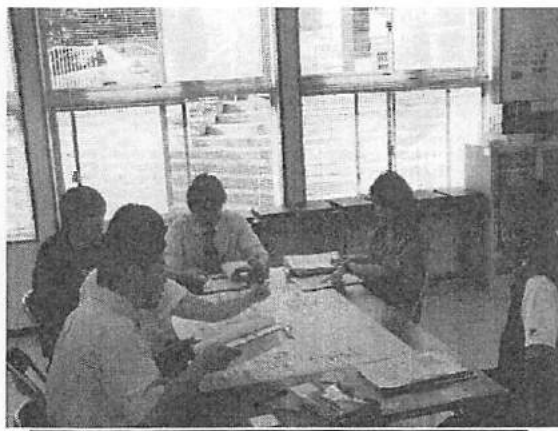
導入部 薙刀に対するイメージは？



導入部 薙刀に関するVTRを見る



薙刀経験者の担任が演舞を披露



2グループに分かれて事後検討会

② 6/15 小3・4年 道徳 「まけるものか〜野口英世」(授業者:川嶋信一)



「てんぼう」とからかわれた清作の気持ちを考えていきましょう。



母の話を聞いた清作の気持ちをペアで話し合う

③ 7/2 中2 道徳 自分と向き合う「二人の弟子」(授業者:岩淵奈津乃)



グループでの意見交換



P4Cの手法で話し合う生徒たち

④ 9/4 小5・6 道徳「サッカーワールドカップ ポーランド戦」(授業者:熊谷崇広)



自分の考えをペアで話し合っているところ

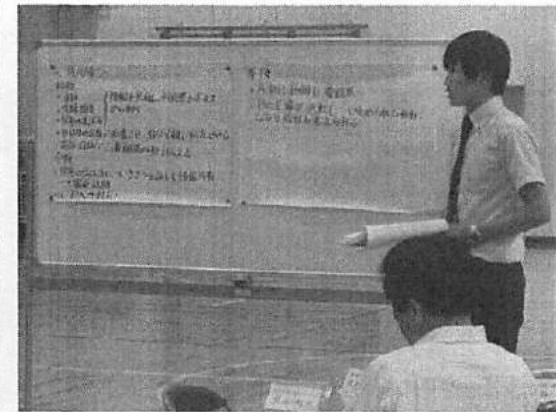


事後検討会の様子 グループごとの発表

⑤ 9/4 中2道徳 協力することの大切さ「みんなでとんだ!」(授業者:岩淵奈津乃)



実話のアニメーションを見てもらいます



事後検討会の様子 グループごとの発表

⑥ 9/28 小2 道徳 助け合う友達「森のともだち」(授業者 山岸 海)



どんな時に友達っていいなと思いますか？

友達に来てくれて、うれしいと思います。

<今後の予定>

【第7回校内研究授業】

- (1) 日時 平成30年11月9日(金) 第1校時
- (2) 実施教科 道徳
- (3) 授業者 講師 鈴木 愉貴 (中3年副担任)
- (4) 参観者の範囲 浦戸小7名 浦戸中8名 市教委1名

【第8回校内研究授業】

- (1) 日時 平成30年11月29日(木) 第1校時
- (2) 実施教科 道徳
- (3) 授業者 講師 佐々木 明香 (小1年担任)
- (4) 参観者の範囲 浦戸小7名 浦戸中8名 市教委1名